

# 令和3年における神奈川県自殺者の状況

(警察庁の自殺統計を基に作成)

1	自殺者数・自殺死亡率の推移	1
2	令和3年自殺者の状況	2
(1)	男女別の状況	2
(2)	年齢階級別の状況	3
(3)	職業別の状況	8
(4)	原因・動機別の状況	10
(5)	自殺未遂歴の状況	12
3	詳細データ	14
(1)	月別の状況	14
(2)	男女別・年齢階級別・月別自殺者数の状況	16
(3)	曜日別の状況	19
(4)	年齢階級別自殺死亡率の状況	20
(5)	男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況	21
(6)	男女別・年齢階級別・自殺の場所別の状況	22
(7)	職業別・年齢階級別の状況	23
(8)	年齢階級別、原因・動機別の状況	25
(9)	職業別、原因・動機別の状況	27
(10)	原因・動機別内訳	29
(11)	年齢階級別、自殺未遂歴の状況	30
(12)	同居人の状況	30

# 1 自殺者数・自殺死亡率の推移

本県の自殺者数は、平成19年から23年にかけて1,800人台で推移していたが、平成24年以降は減少傾向となり、令和元年は1,076人と平成10年以降で最少となったが、令和2年は193人増加し、1,269人となった。令和3年は若干減少し、1,222人となった。

自殺死亡率は、平成23年以降減少傾向となり、令和元年は11.7と平成9年以降で最少となったが、令和2年は2.0ポイント増加し、13.7となった。令和3年は0.5ポイント減少し、13.2ポイントとなった。

図1-1

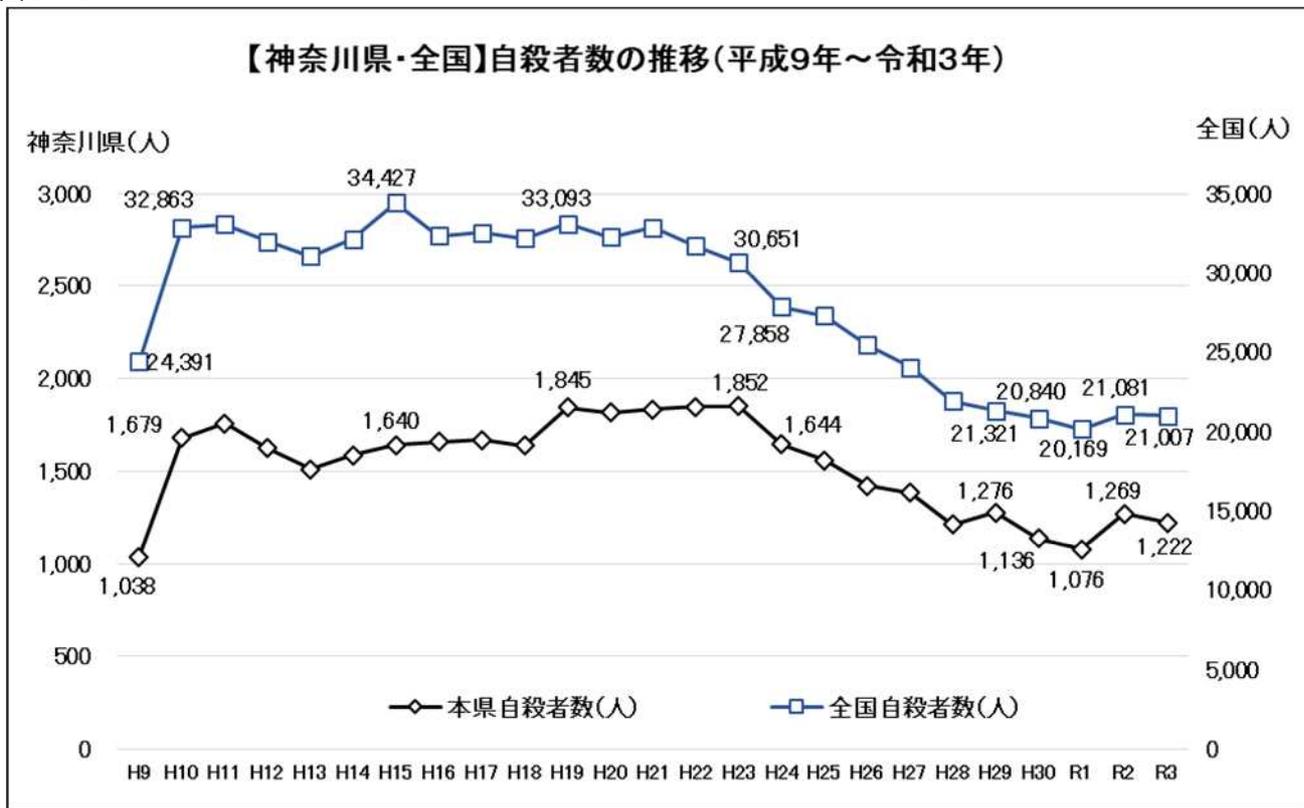
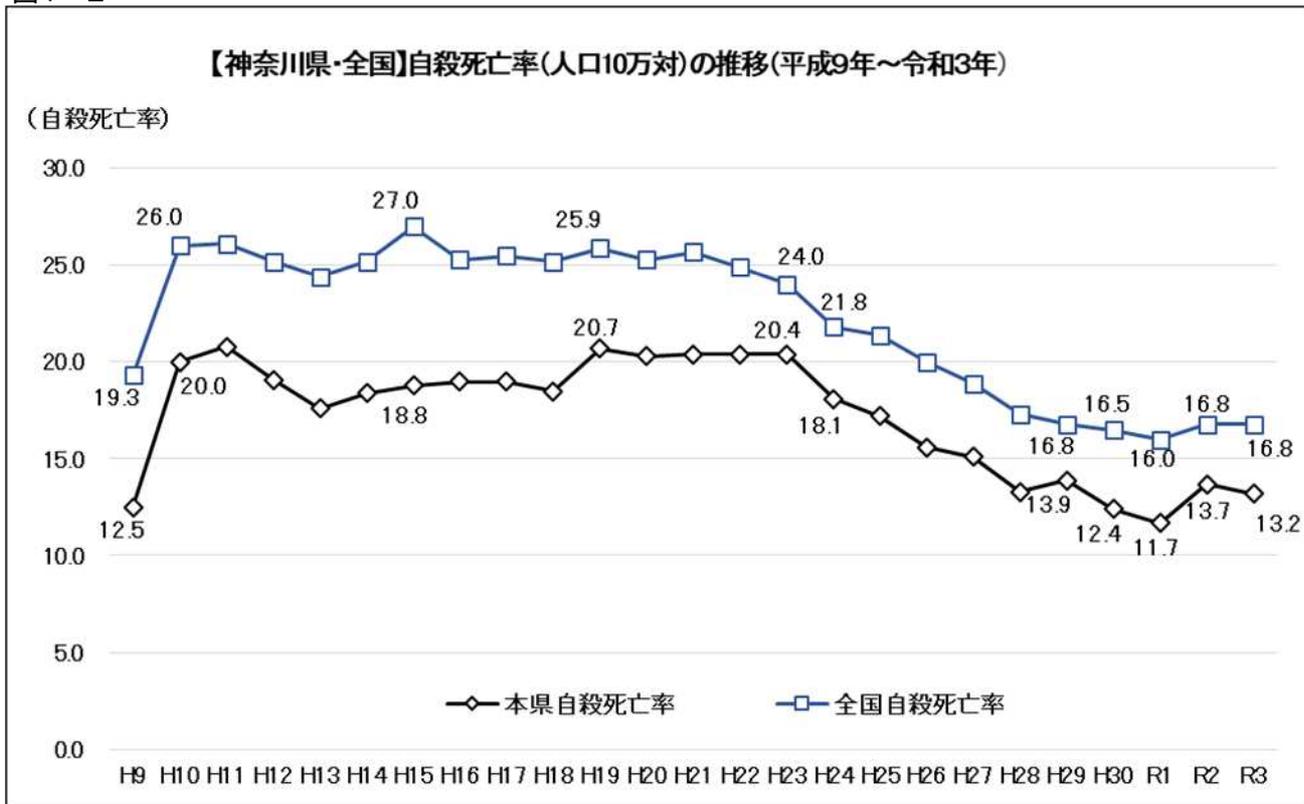


図1-2



## 2 令和3年自殺者の状況

### (1) 男女別の状況

本県の令和3年における男女別自殺者数は、男性は前年より20人減の791人、女性は前年より27人減の431人となっている。男女別自殺者の割合は、ほぼ男性が7割、女性が3割で推移しているが、令和2年は、男性が63.9%、女性が36.1%で、女性の割合が増加している。令和3年は男性が64.7%、女性が35.3%で男性の割合が増加したが、全国では令和3年も女性の自殺者数、割合が増加している。

図2-1

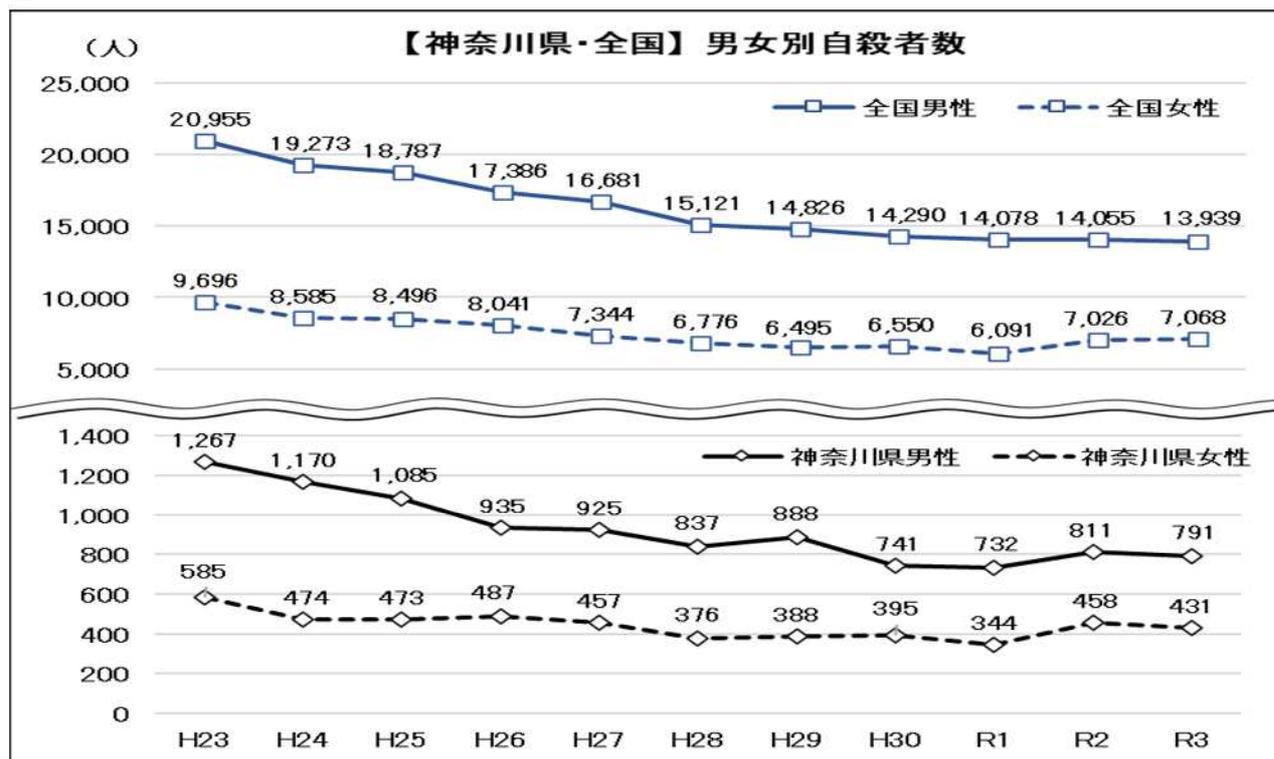
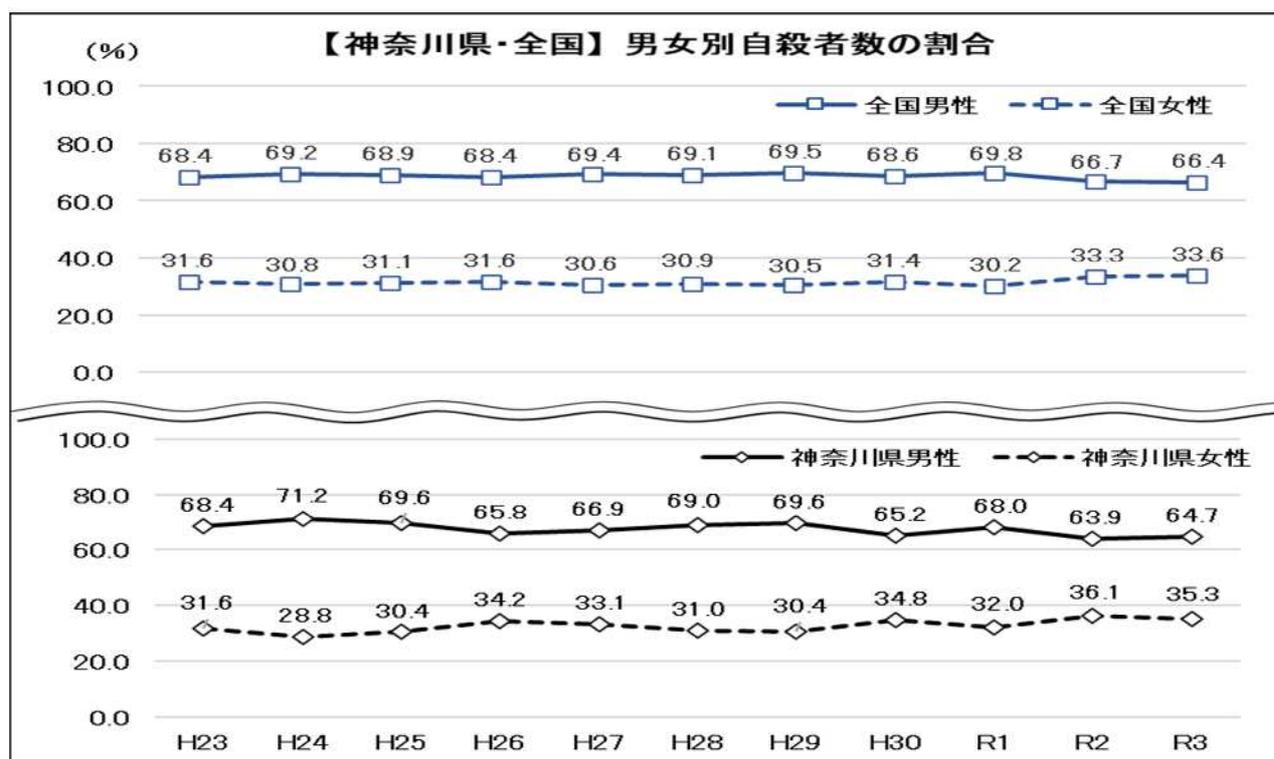


図2-2



## (2) 年齢階級別の状況

本県の令和3年における年齢階級別の自殺者割合は、50歳代が最も多く、次いで40歳代、30歳代の順となっている。

なお、全国と比較して、本県は30歳代、50歳代の割合が多い。自殺者数の前年比較でも、30歳代、50歳代が増加しており、特に30歳代は32人の増加となっている。また、20歳代は令和3年は減少したものの、平成30年、令和元年と比べると依然高い値となった。

図2-3

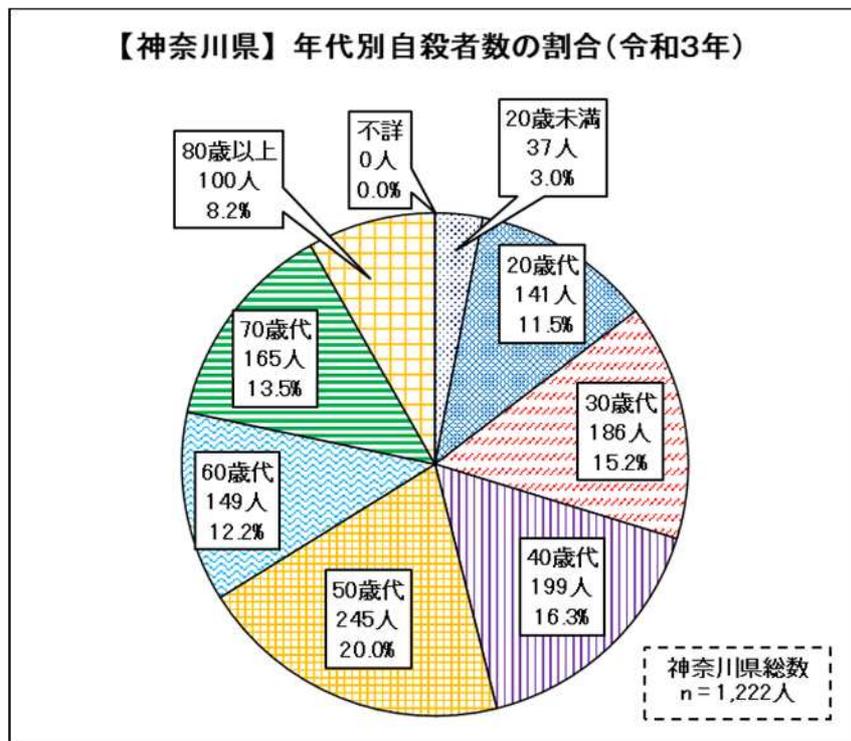


図2-4

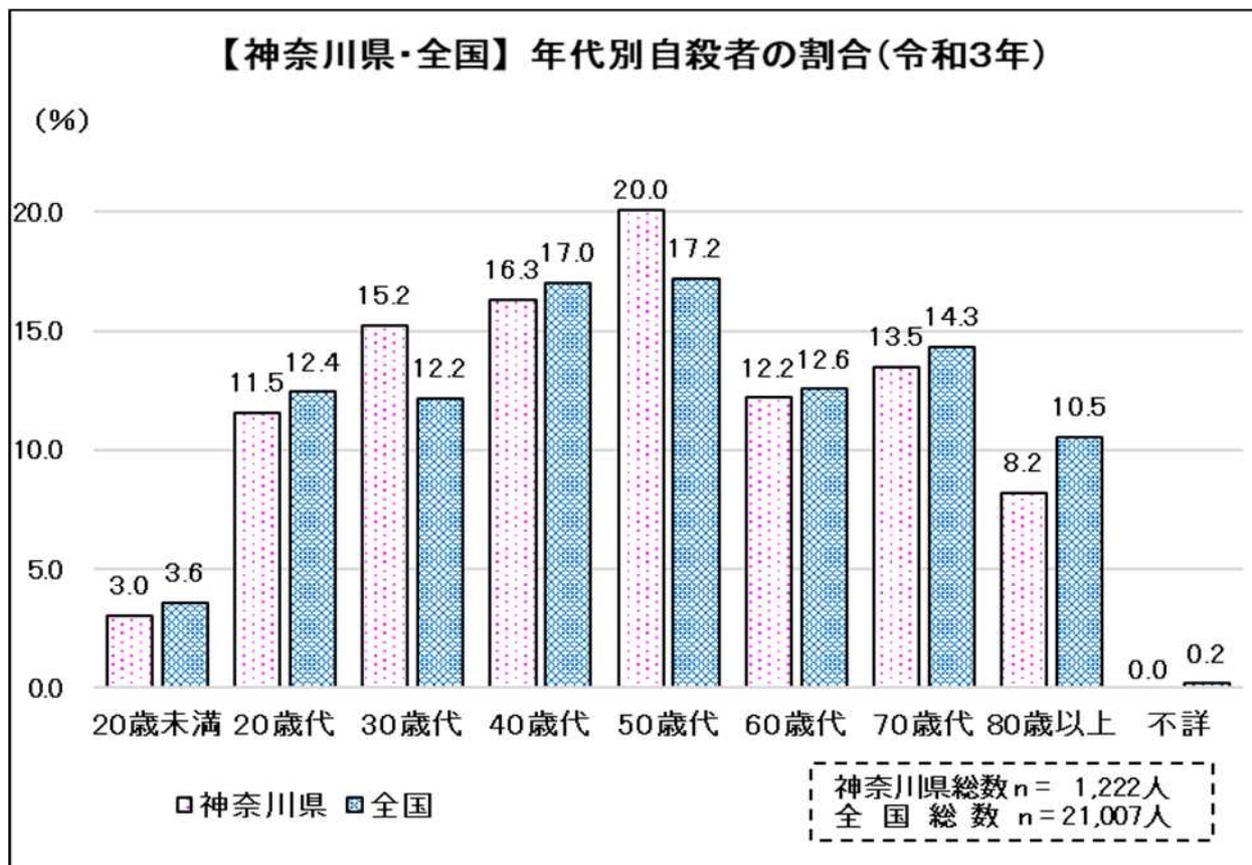
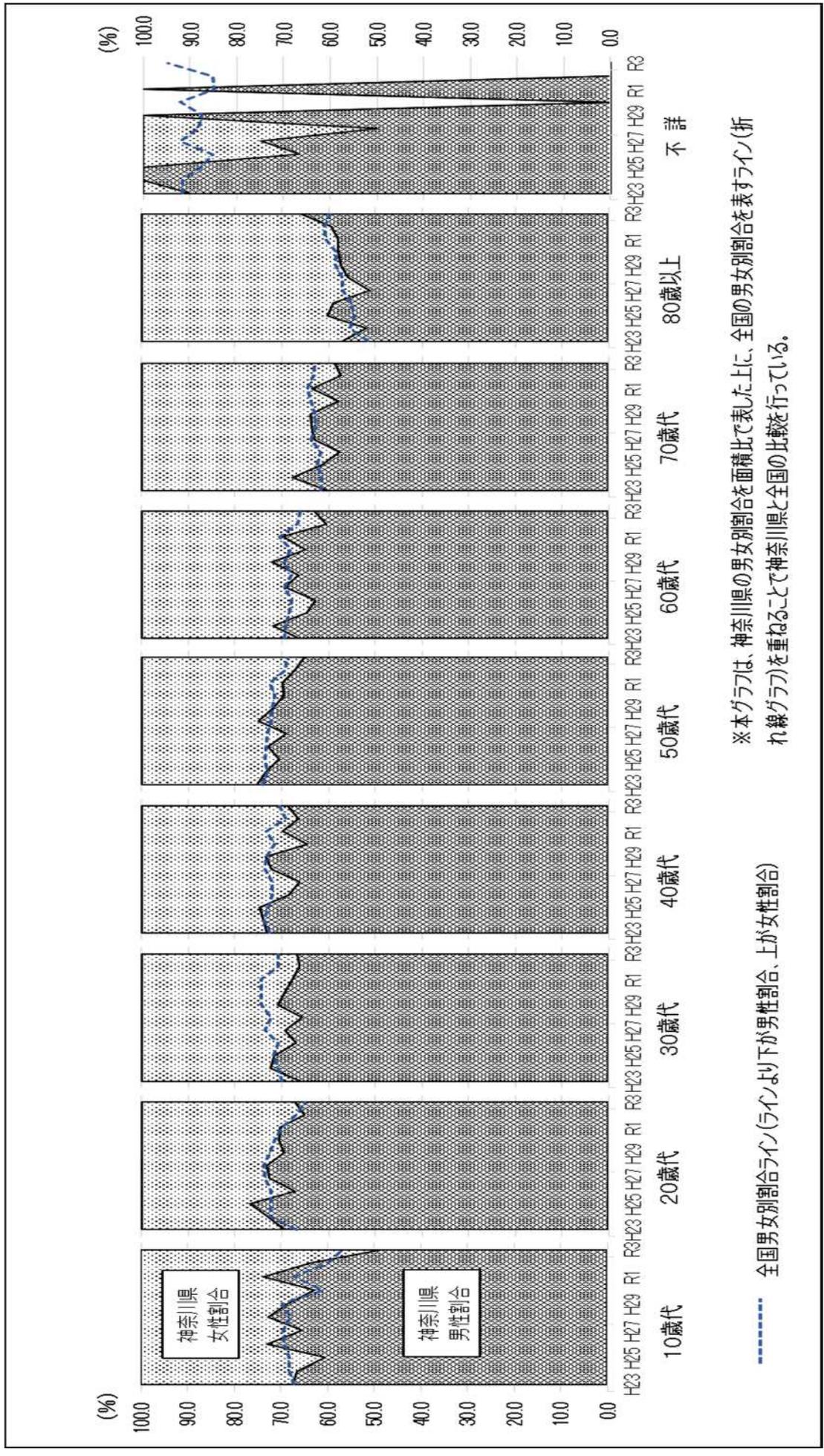


図2—5

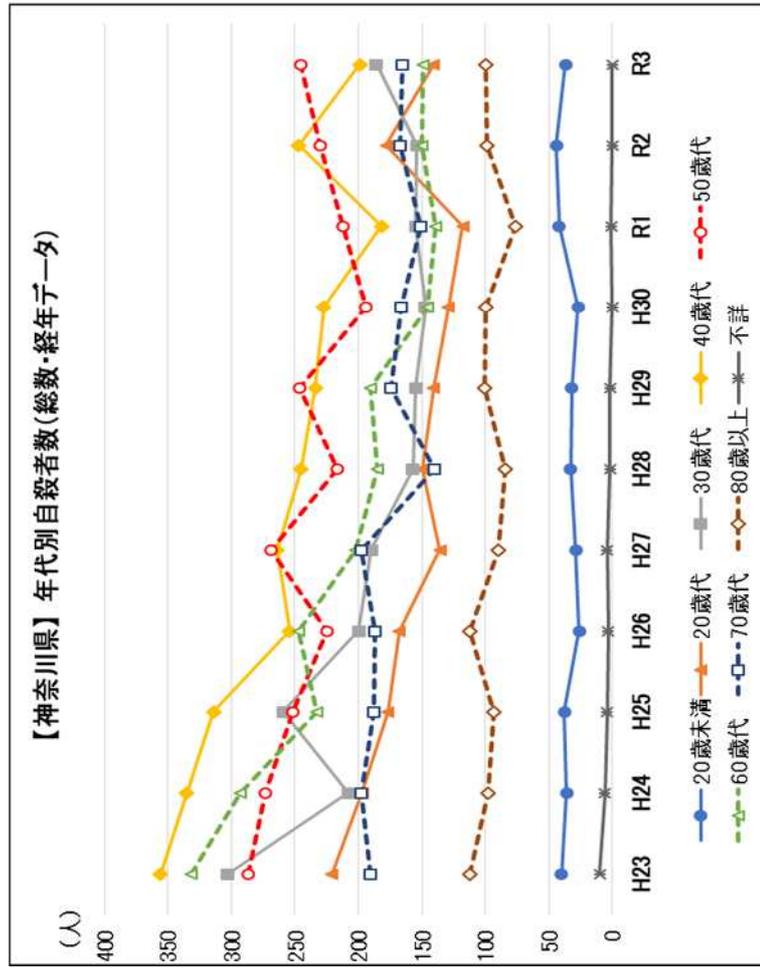


※本グラフは、神奈川県の男女別割合を面積比で表した上に、全国の男女別割合を表すライン(折れ線グラフ)を重ねることで神奈川県と全国の比較を行っている。

----- 全国男女別割合ライン(ラインより下が男性割合、上が女性割合)

図2-6

表2-1

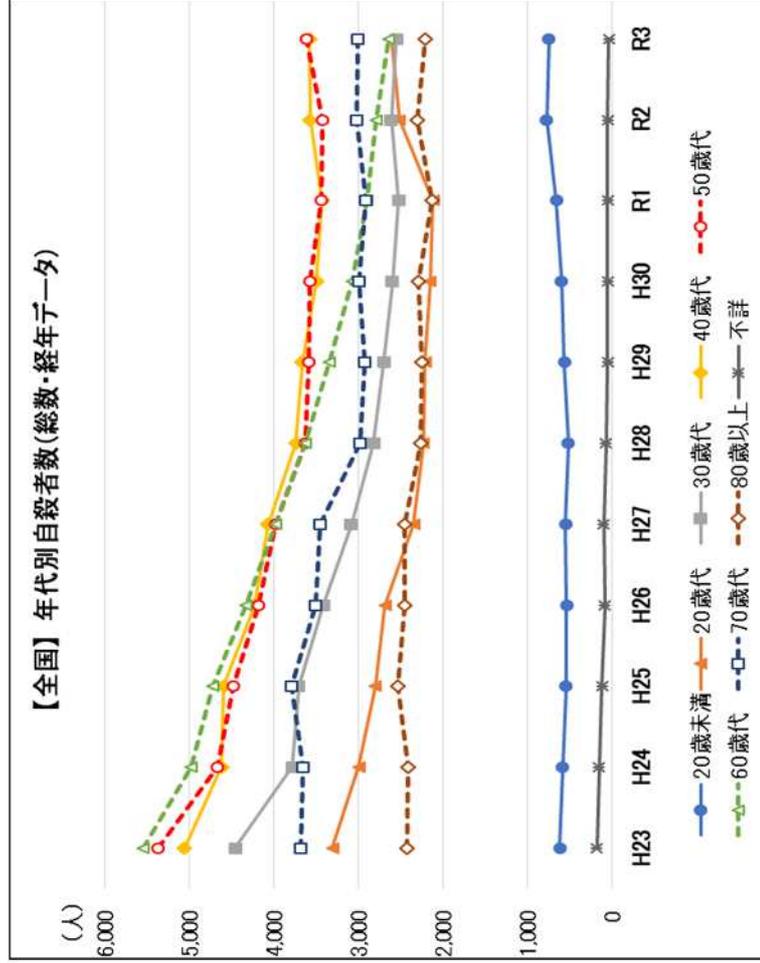


【神奈川県】年代別自殺者数(総数・人)

年代別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
20歳未満	40	36	38	26	29	33	32	27	42	44	37
20歳代	221	197	177	168	136	150	141	129	118	178	141
30歳代	303	208	259	200	190	157	155	147	155	154	186
40歳代	356	335	314	254	264	245	234	227	182	247	199
50歳代	287	273	252	225	269	217	246	194	212	230	245
60歳代	332	293	233	247	202	185	191	146	139	150	149
70歳代	191	198	188	187	198	140	174	166	151	167	165
80歳以上	112	98	93	112	90	84	101	100	76	99	100
不詳	10	6	4	3	4	2	2	0	1	0	0
総数	1,852	1,644	1,558	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222

図2-7

表2-2

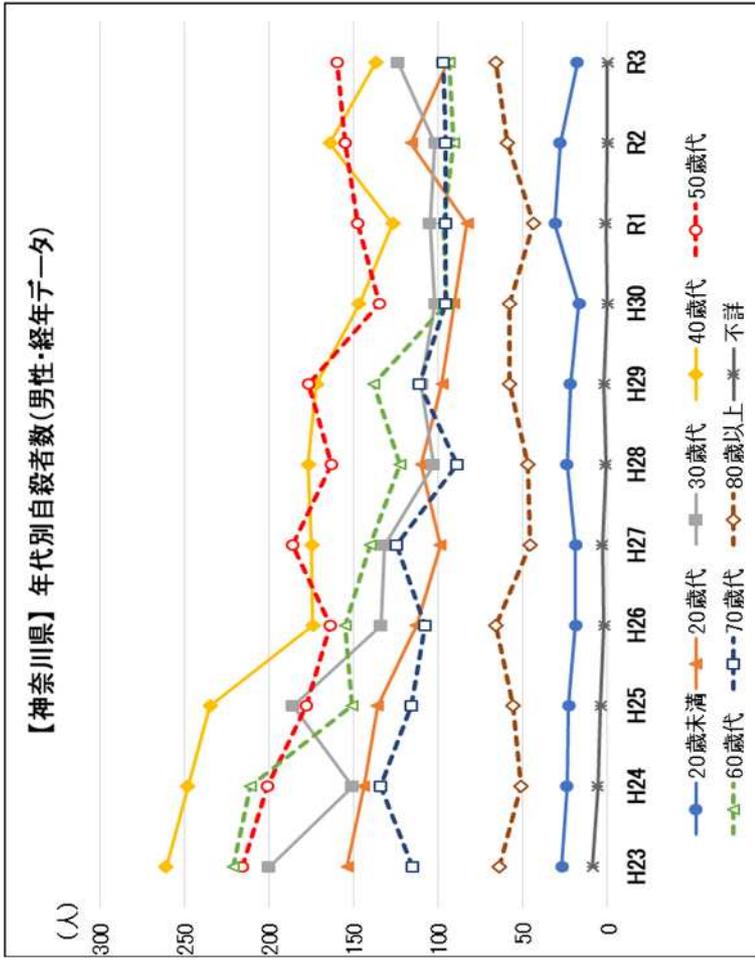


【全国】年代別自殺者数(総数・人)

年代別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
20歳未満	622	587	547	538	554	520	567	599	659	777	750
20歳代	3,304	3,000	2,801	2,684	2,352	2,235	2,213	2,152	2,117	2,521	2,611
30歳代	4,455	3,781	3,705	3,413	3,087	2,824	2,703	2,597	2,526	2,610	2,554
40歳代	5,053	4,616	4,589	4,234	4,069	3,739	3,668	3,498	3,426	3,568	3,575
50歳代	5,375	4,668	4,484	4,181	3,979	3,631	3,593	3,575	3,435	3,425	3,618
60歳代	5,547	4,976	4,716	4,325	3,973	3,626	3,339	3,079	2,902	2,795	2,637
70歳代	3,685	3,661	3,785	3,508	3,451	2,983	2,926	2,998	2,917	3,026	3,009
80歳以上	2,429	2,411	2,533	2,457	2,459	2,262	2,256	2,290	2,134	2,305	2,214
不詳	181	158	123	87	101	77	56	52	53	54	39
総数	30,651	27,858	27,283	25,427	24,025	21,897	21,321	20,840	20,169	21,081	21,007

図2-8

表2-3

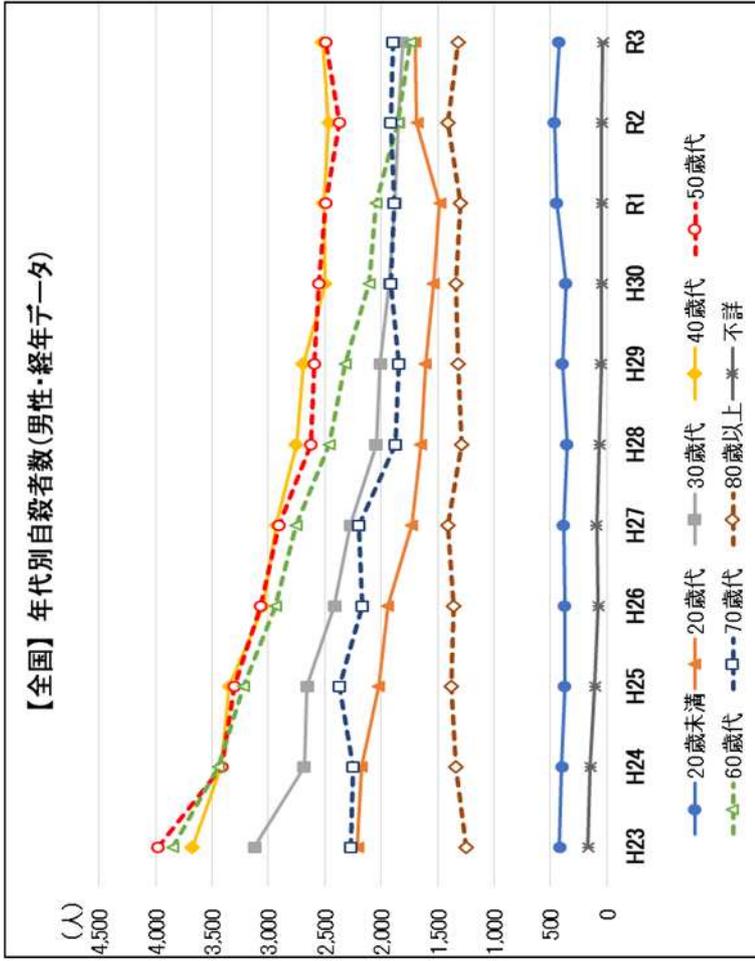


【神奈川県】年代別自殺者数(男性・人)

年代別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
20歳未満	27	24	23	19	19	24	22	17	31	28	18
20歳代	154	144	136	113	99	110	98	91	83	116	95
30歳代	200	151	186	134	132	103	110	102	105	102	124
40歳代	261	248	235	174	175	177	172	147	127	164	137
50歳代	216	201	178	164	186	163	177	135	148	155	160
60歳代	221	211	151	155	140	123	138	95	97	91	94
70歳代	115	134	116	108	125	89	111	96	96	96	97
80歳以上	64	51	56	66	46	47	58	58	44	59	66
不詳	9	6	4	2	3	1	2	0	1	0	0
総数	1,267	1,170	1,085	935	925	837	888	741	732	811	791

図2-9

表2-4



【全国】年代別自殺者数(男性・人)

年代別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
20歳未満	418	400	374	373	385	354	396	366	443	466	426
20歳代	2,210	2,177	2,024	1,945	1,731	1,652	1,607	1,538	1,483	1,684	1,689
30歳代	3,123	2,681	2,659	2,413	2,272	2,043	2,010	1,930	1,878	1,846	1,810
40歳代	3,675	3,417	3,344	3,047	2,932	2,751	2,691	2,499	2,511	2,466	2,519
50歳代	3,985	3,417	3,303	3,068	2,906	2,628	2,593	2,558	2,497	2,371	2,492
60歳代	3,853	3,446	3,224	2,942	2,759	2,463	2,319	2,103	2,045	1,859	1,741
70歳代	2,273	2,253	2,370	2,165	2,198	1,870	1,841	1,913	1,882	1,912	1,892
80歳以上	1,252	1,337	1,381	1,359	1,405	1,292	1,320	1,335	1,294	1,405	1,323
不詳	166	145	108	74	93	68	49	48	45	46	37
総数	20,955	19,273	18,787	17,386	16,681	15,121	14,826	14,290	14,078	14,055	13,939

図2-11  
表2-6

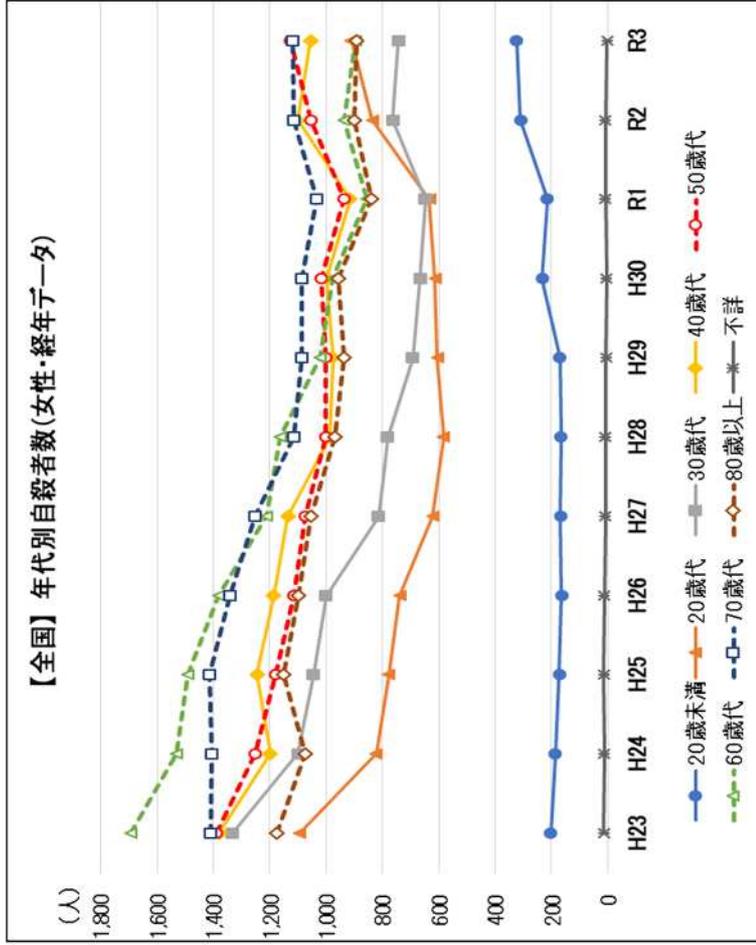
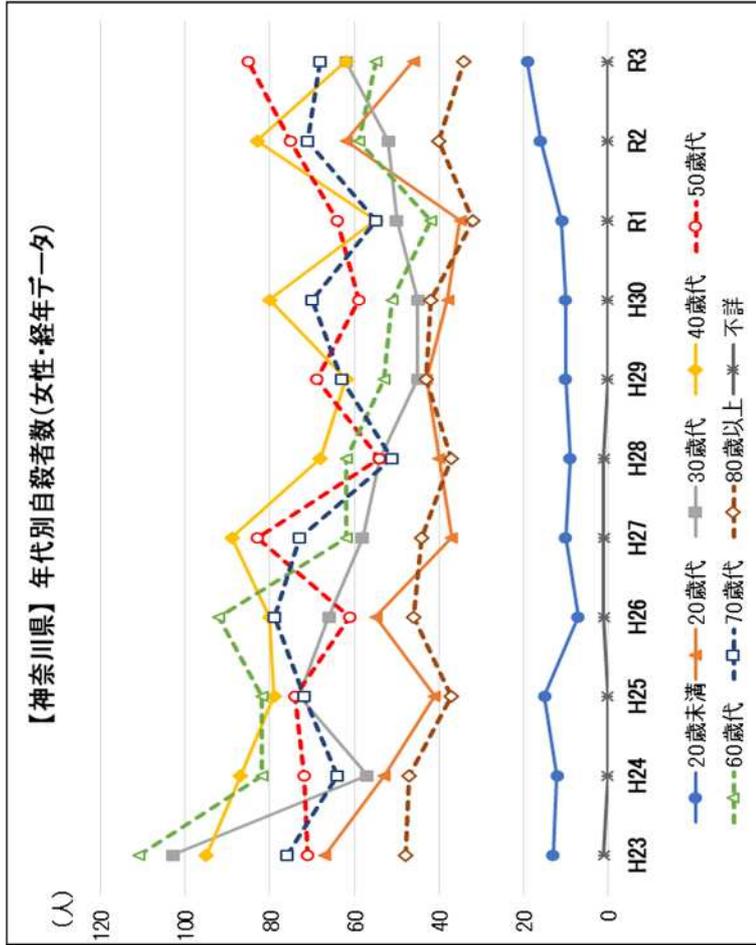


図2-10  
表2-5



**【全国】年代別自殺者数(女性・人)**

年代別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
20歳未満	204	187	173	165	169	166	171	233	216	311	324
20歳代	1,094	823	777	739	621	583	606	614	634	837	912
30歳代	1,332	1,100	1,046	1,000	815	781	693	667	648	764	744
40歳代	1,378	1,199	1,245	1,187	1,137	988	977	999	915	1,102	1,056
50歳代	1,390	1,251	1,181	1,113	1,073	1,003	1,000	1,017	938	1,054	1,126
60歳代	1,694	1,530	1,492	1,383	1,214	1,163	1,020	976	857	936	896
70歳代	1,412	1,408	1,415	1,343	1,253	1,113	1,085	1,085	1,035	1,114	1,117
80歳以上	1,177	1,074	1,152	1,098	1,054	970	936	955	840	900	891
不詳	15	13	15	13	8	9	7	4	8	8	2
総数	9,896	8,585	8,496	8,041	7,344	6,776	6,495	6,550	6,091	7,026	7,068

**【神奈川県】年代別自殺者数(女性・人)**

年代別	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
20歳未満	13	12	15	7	10	10	9	10	11	16	19
20歳代	67	53	41	55	37	40	43	38	35	62	46
30歳代	103	57	73	66	58	54	45	45	50	52	62
40歳代	95	87	79	80	89	68	62	80	55	83	62
50歳代	71	72	74	61	83	54	69	59	64	75	85
60歳代	111	82	82	92	62	62	53	51	42	59	55
70歳代	76	64	72	79	73	51	63	70	55	71	68
80歳以上	48	47	37	46	44	37	43	42	32	40	34
不詳	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
総数	585	474	473	487	457	376	388	395	344	458	431

### (3) 職業別の状況

本県の令和3年における職業別の自殺者数は、無職が最も多く、前年比3人減の752人、次いで被雇用者・勤め人は前年比37人減の390人であった。また、無職のうち、その他無職者が31人増加し354人となった。

図2-12

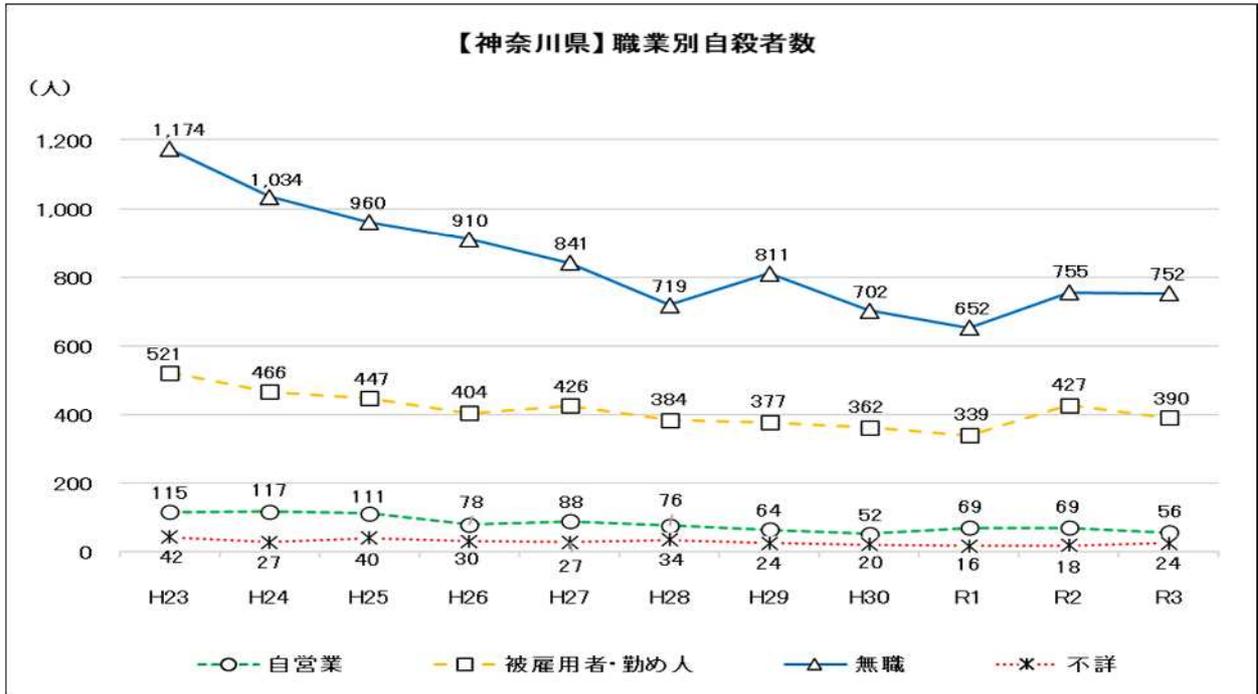
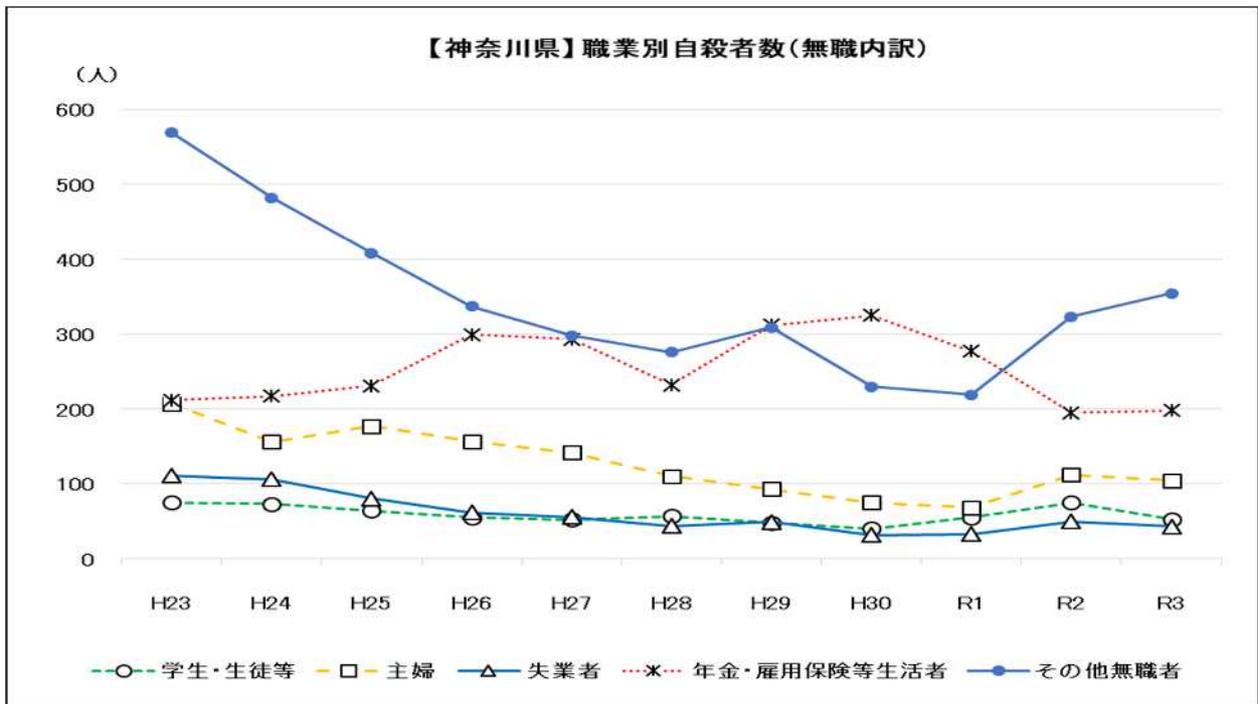


図2-13

表2-7



無職内訳	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
学生・生徒等	75	73	64	55	52	57	48	40	55	75	53
主婦	207	156	177	157	142	110	93	75	68	112	104
失業者	111	106	80	62	56	44	49	32	33	50	43
年金・雇用保険等生活者	212	217	231	299	293	232	312	325	277	195	198
その他無職者	569	482	408	337	298	276	309	230	219	323	354
無職者計	1,174	1,034	960	910	841	719	811	702	652	755	752

図2—14

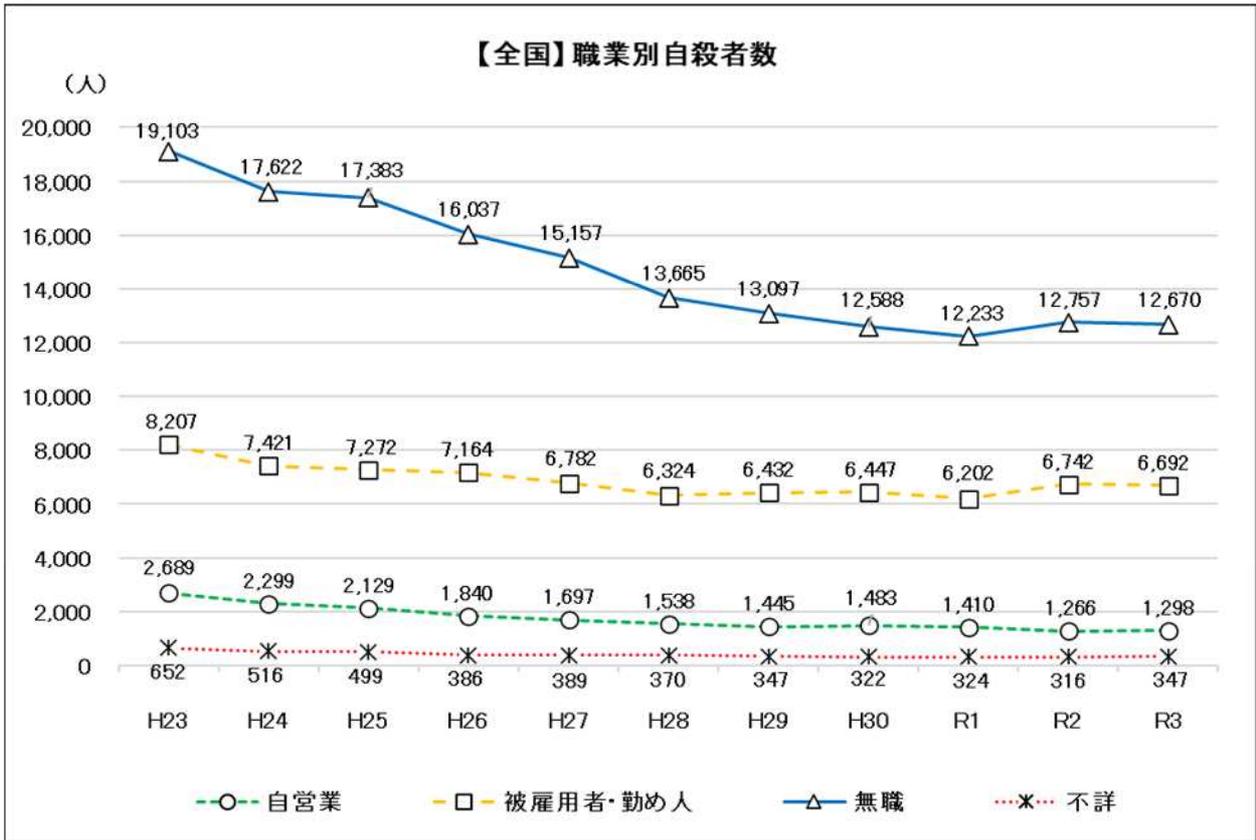
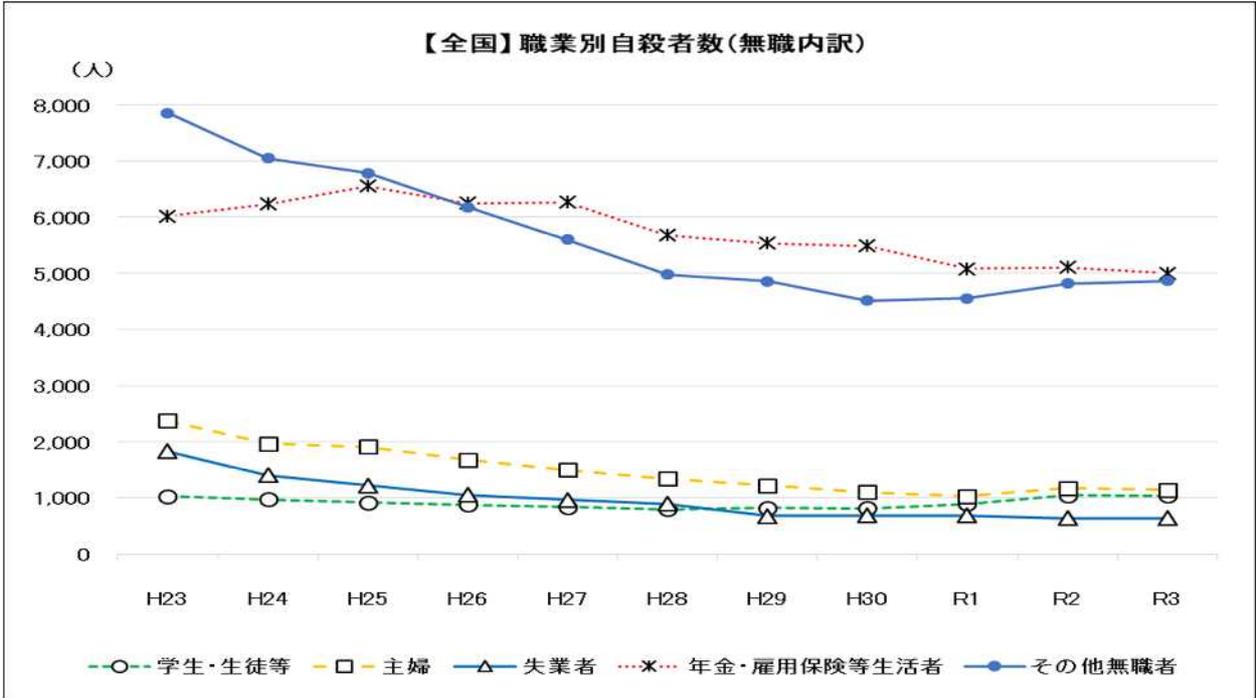


図2—15

表2—8



無職内訳	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
学生・生徒等	1,029	971	918	874	835	791	817	812	888	1,039	1,031
主婦	2,372	1,968	1,914	1,680	1,498	1,340	1,215	1,095	1,025	1,168	1,136
失業者	1,830	1,404	1,217	1,052	962	888	678	682	684	636	636
年金・雇用保険等生活者	6,019	6,235	6,551	6,250	6,267	5,675	5,534	5,484	5,081	5,101	5,001
その他無職者	7,853	7,044	6,783	6,181	5,595	4,971	4,853	4,515	4,555	4,813	4,866
無職者計	19,103	17,622	17,383	16,037	15,157	13,665	13,097	12,588	12,233	12,757	12,670

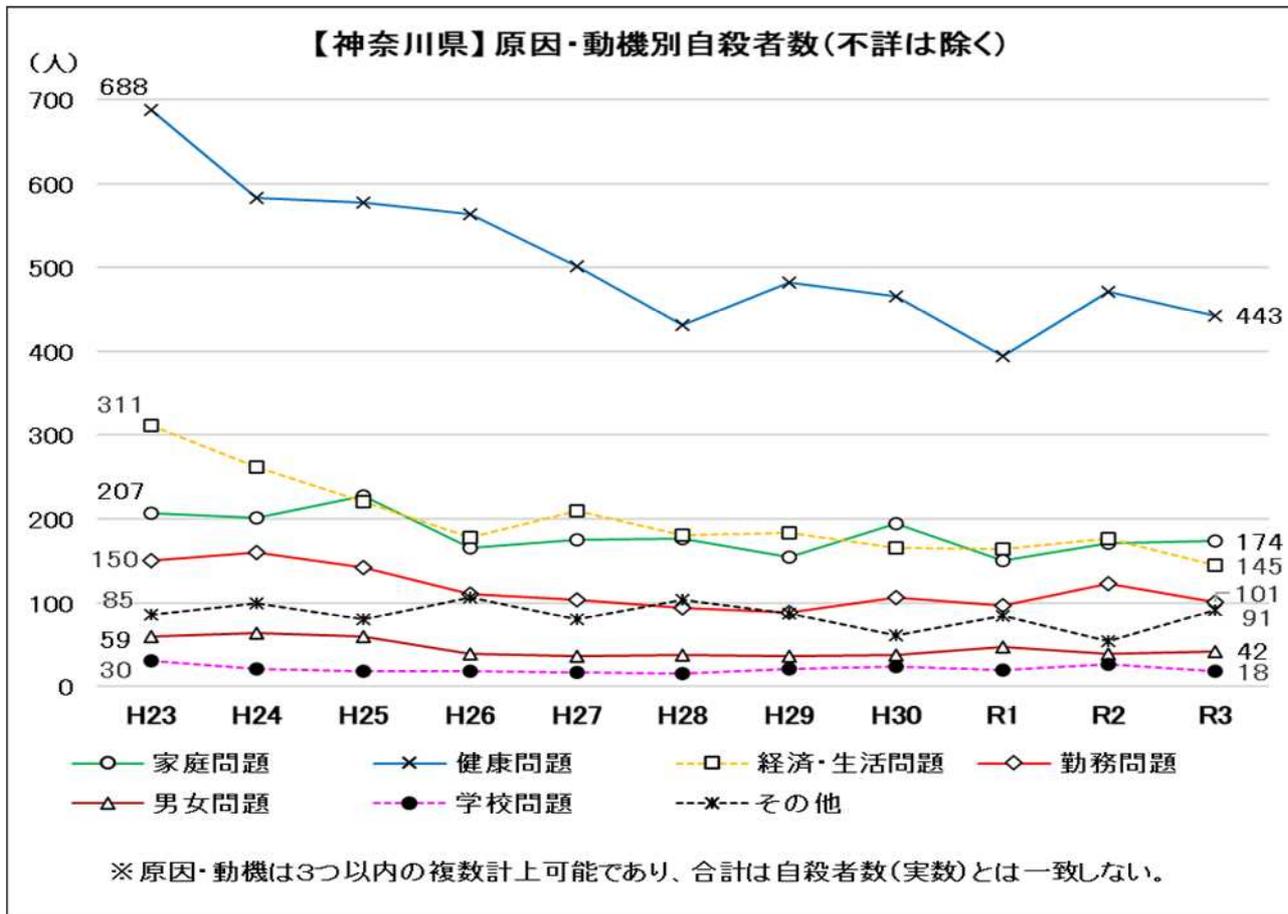
(4) 原因・動機別の状況

本県の令和3年の自殺者のうち、原因・動機が判明した自殺者は、「健康問題」が443人と最も多く、次いで「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」となっている。令和2年は第2位であった「経済・生活問題」が減少し、令和3年は「家庭問題」が第2位となった。

各年齢階級別の原因・動機別では、「健康問題」が19歳以下を除くすべての年齢階級で第1位となっており、19歳以下は「学校問題」が第1位となっている。

図2-16

表2-9



原因・動機別内訳	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
家庭問題	207	201	227	165	175	176	154	195	150	171	174
健康問題	688	583	578	564	502	432	483	466	394	472	443
経済・生活問題	311	262	221	178	209	181	183	166	164	177	145
勤務問題	150	160	142	111	104	94	88	106	96	123	101
男女問題	59	64	60	39	36	37	36	38	47	39	42
学校問題	30	21	18	18	17	15	21	24	20	27	18
その他	85	99	80	106	80	103	87	61	84	54	91
不詳	797	674	626	579	598	493	538	418	414	529	528
総計	2,327	2,064	1,952	1,760	1,721	1,531	1,590	1,474	1,369	1,592	1,542
自殺者数(実数)	1,852	1,644	1,558	1,422	1,382	1,213	1,276	1,136	1,076	1,269	1,222

表2-10

【神奈川県】令和3年における各年齢階級別の原因・動機別順位(第3位まで)と割合

年代	第1位		第2位		第3位	
	原因	割合	原因	割合	原因	割合
10歳代	学校問題	29.7%	家庭問題	18.9%	健康問題(同率)	16.2%
					その他(同率)	16.2%
20歳代	健康問題	27.0%	家庭問題	14.2%	勤務問題	13.5%
30歳代	健康問題	30.6%	家庭問題(同率)	12.9%		
			経済・生活問題(同率)	12.9%		
40歳代	健康問題	31.2%	家庭問題	16.1%	経済・生活問題	14.1%
50歳代	健康問題	34.3%	経済・生活問題	19.6%	家庭問題	15.5%
60歳代	健康問題	38.9%	家庭問題	14.8%	経済・生活問題	11.4%
70歳代	健康問題	55.8%	家庭問題	12.1%	経済・生活問題	7.9%
80歳代以上	健康問題	46.0%	家庭問題	11.0%	その他	8.0%
全年代	健康問題	36.3%	家庭問題	14.2%	経済・生活問題	11.9%

※ 不詳は除く。

※ 原因・動機は3つ以内の複数計上可能であり、自殺者の割合は、自殺者数(実数)を母数として、それぞれの原因・動機に該当した人数の割合を算出している。

(5) 自殺未遂歴の状況

本県の令和3年における自殺者のうち自殺未遂歴があった人は、前年より10人増加し、280人(22.9%)となっている。また、男女別では、男性が146人(18.5%)、女性が134人(31.1%)で人数は男性の方が多いが、男女別の割合としては依然女性の方が未遂歴が多い傾向にある。

図2-17

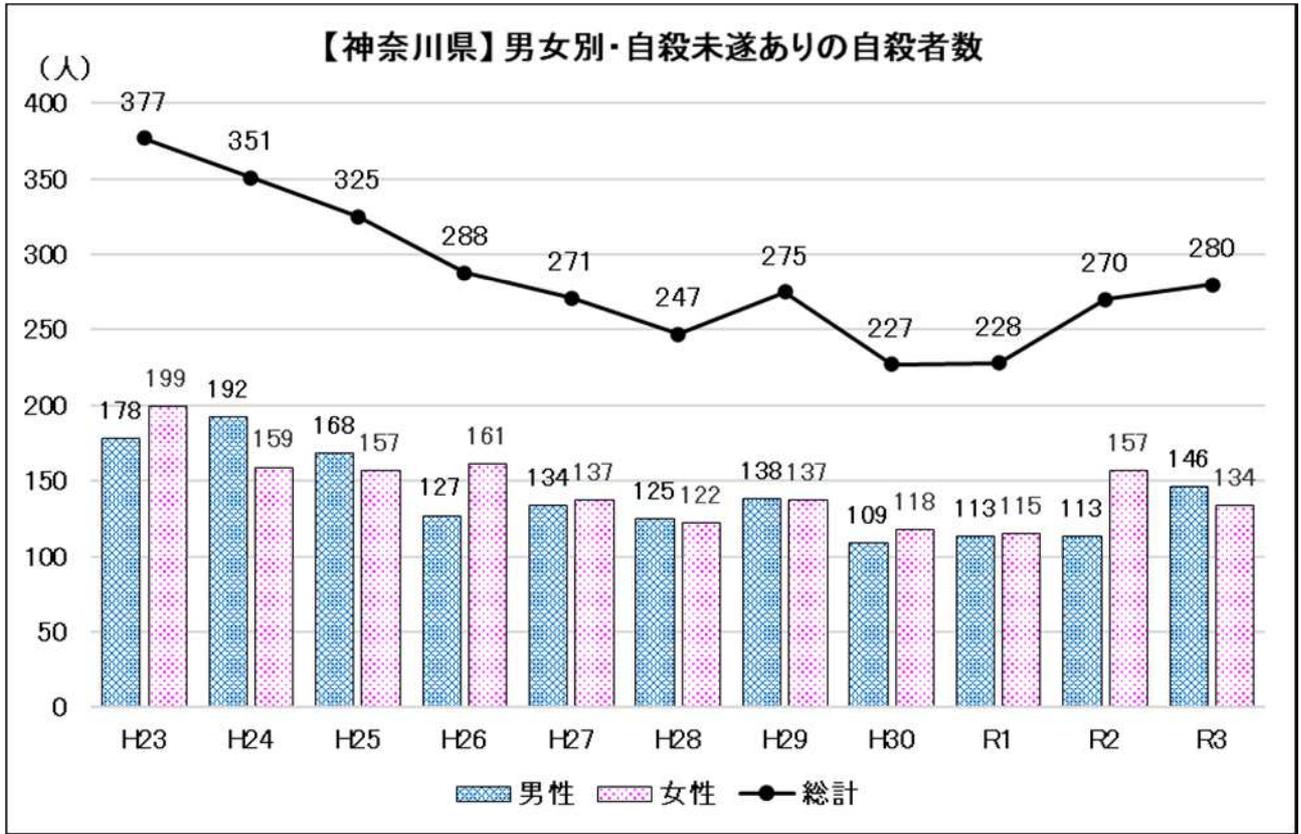


図2-18

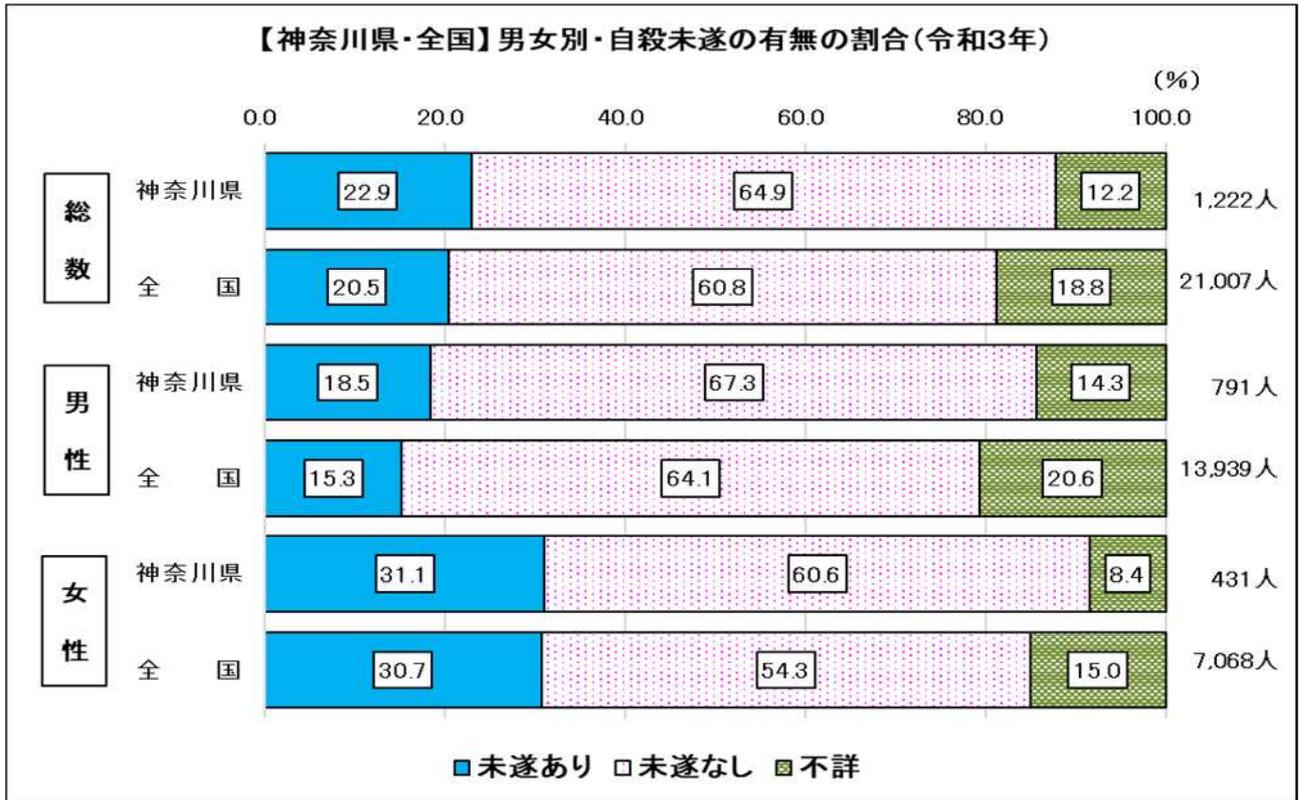
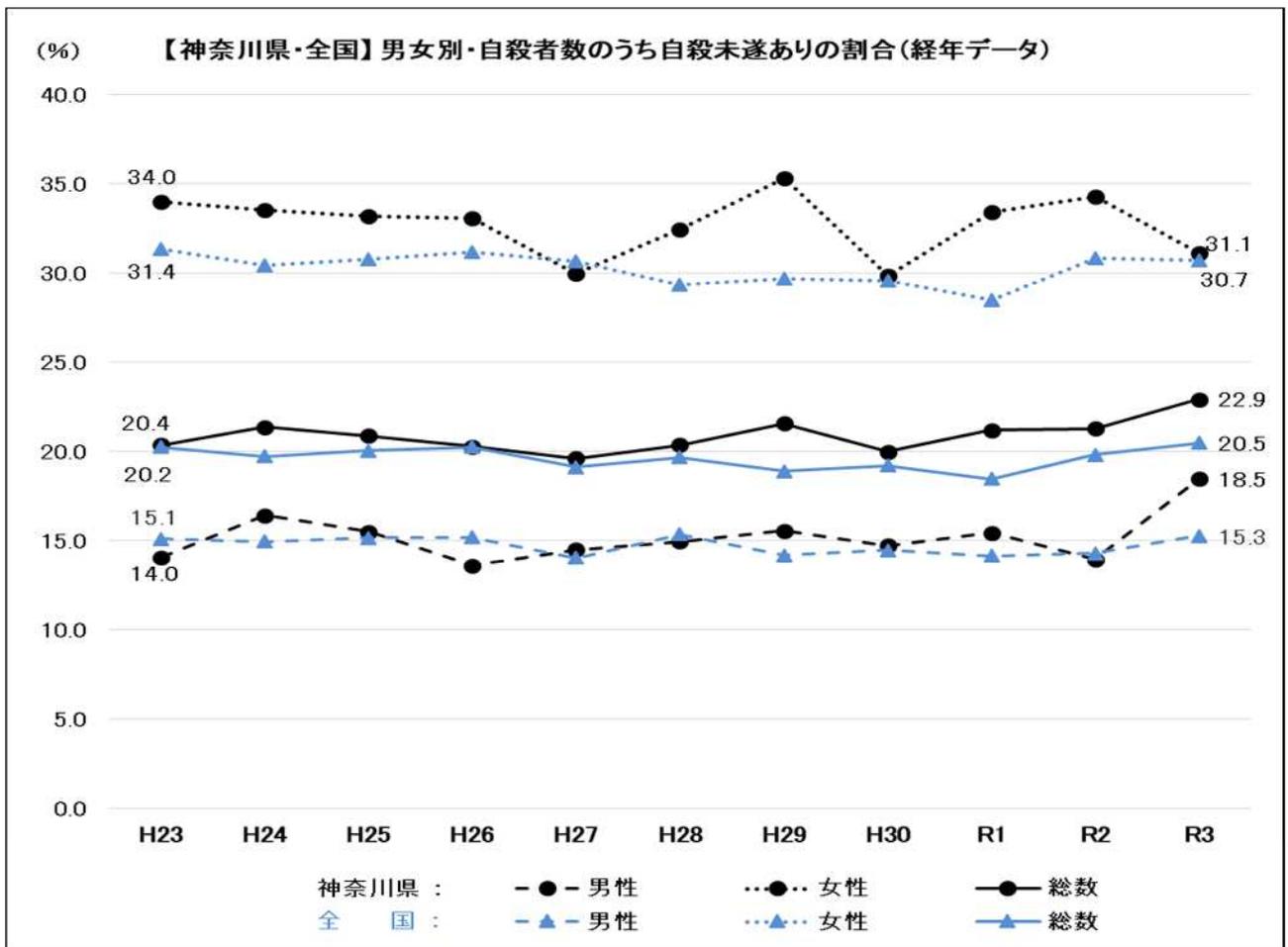


図2-19



総数(人)n:年[神奈川県/全国]

H23 [1,852/30,651]    H24 [1,644/27,858]    H25 [1,558/27,283]    H26 [1,422/25,427]    H27 [1,382/24,025]  
 H28 [1,213/21,897]    H29 [1,276/21,321]    H30 [1,136/20,840]    R 1 [1,076/20,169]    R 2 [1,269/21,081]  
 R 3 [1,222/21,007]

### 3 詳細データ

#### (1) 月別の状況

令和3年の月別の自殺者数の状況を見ると、総数として最も多いのは本県と全国ともに「3月」、最も少ないのは本県では「2月」、全国では「12月」となっている。

男女別にみて最も多い月は、本県の男性は「3月」、女性は「4月」「5月」となっており、全国では男女ともに「3月」である。また、最も少ない月は、本県では男性が「2月」、女性が「10月」であり、全国では男性は「12月」、女性は「11月」となっている。

図3-1

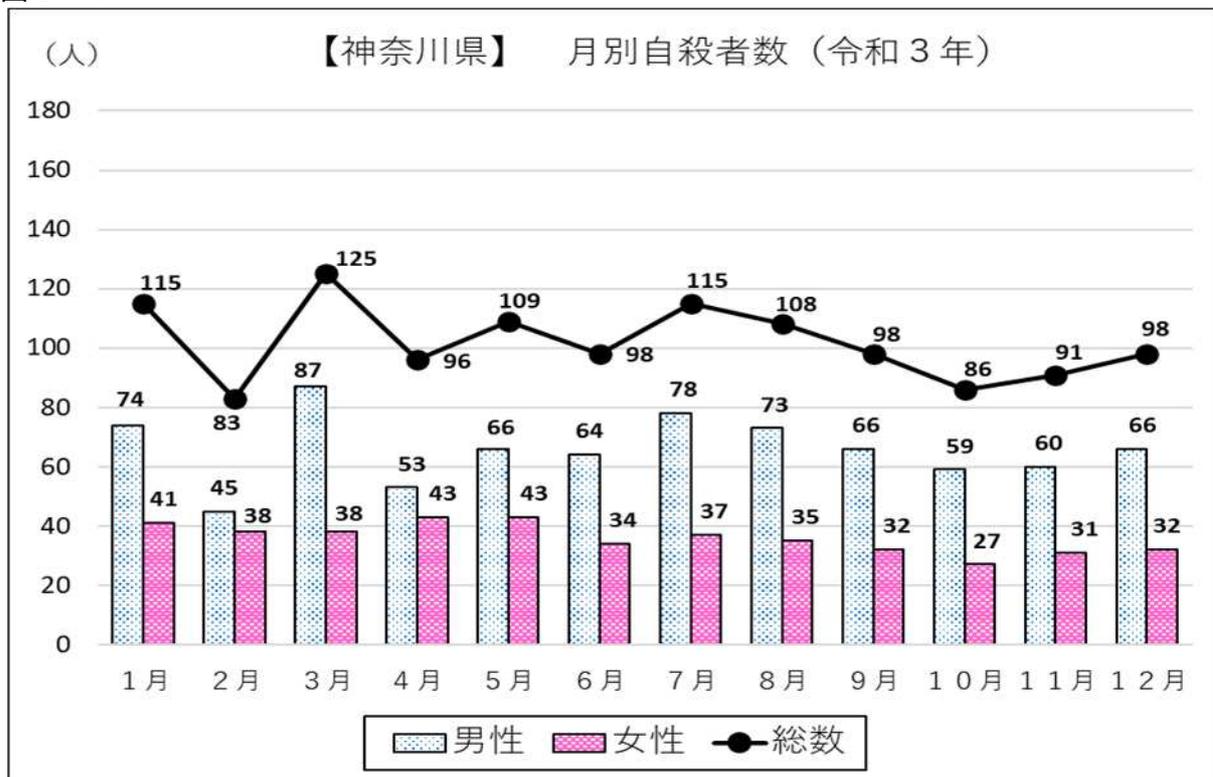
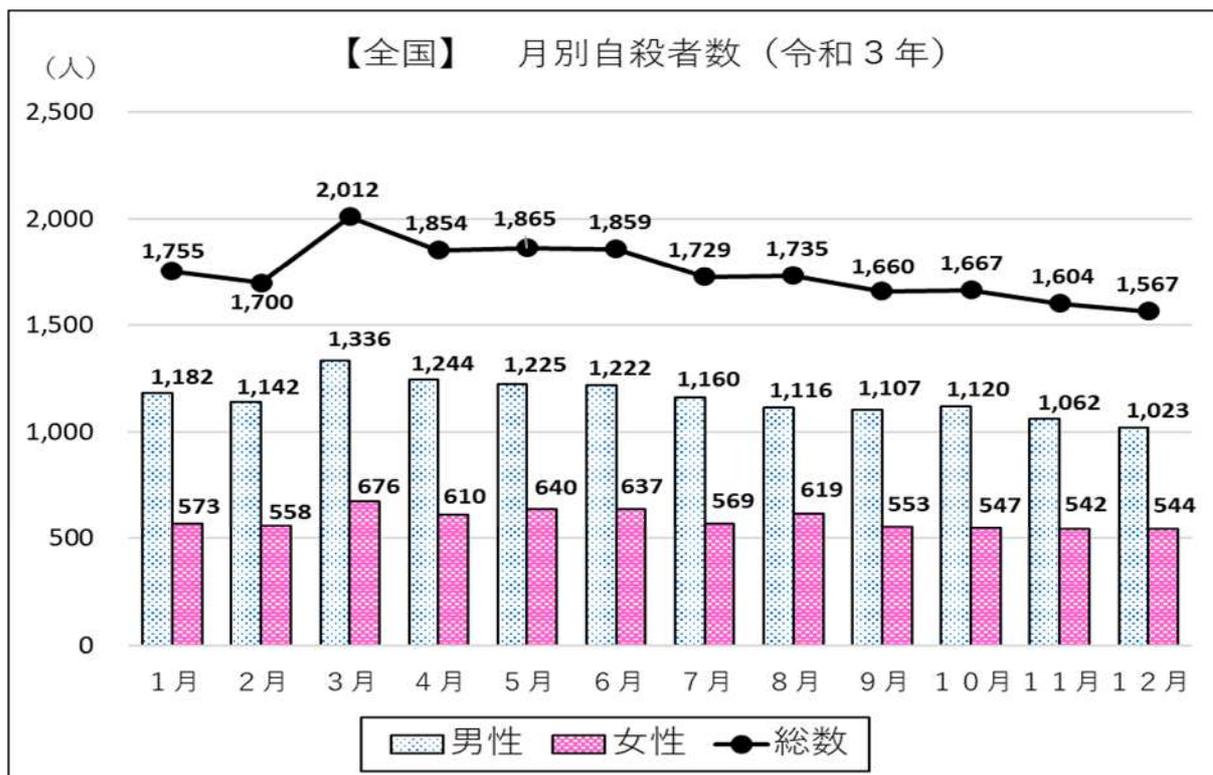
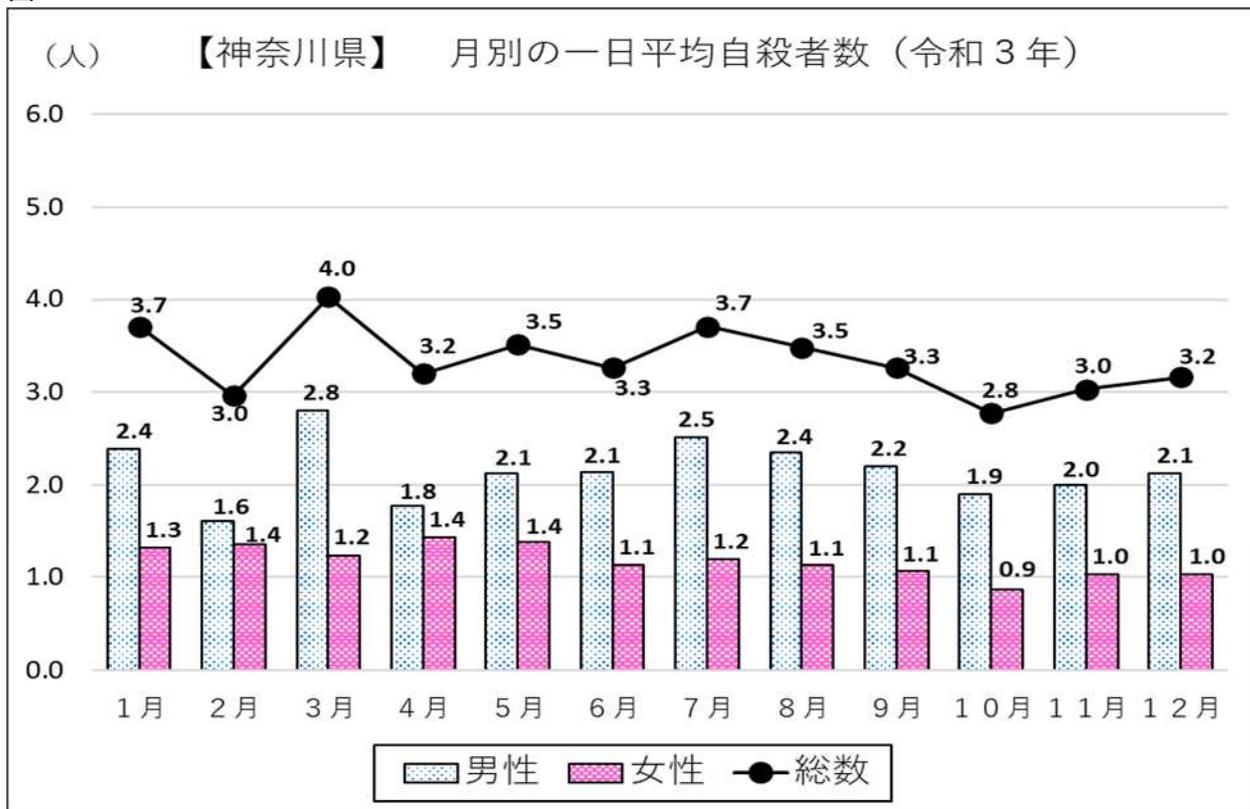


図3-2



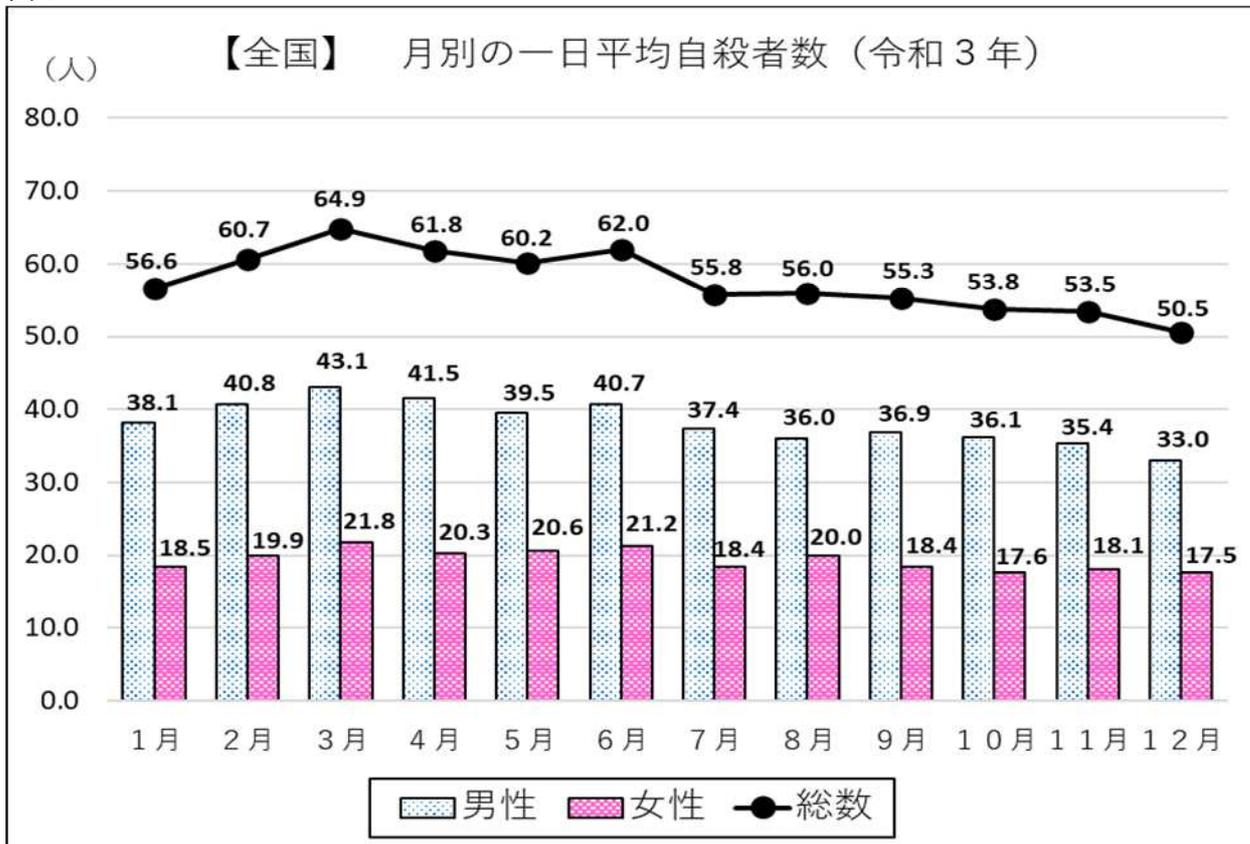
月別の一日平均自殺者数の状況を見ると、総数としては本県と全国ともに「3月」が最も多い。一方、全国では男女ともに「12月」が最も少ないのに対し、本県では男性は「2月」、女性は「10月」が最も少なくなっている。

図3-3



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

図3-4



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

## (2) 男女別・年齢階級別・月別自殺者数の状況

本県の令和3年における月別自殺者数の推移をみると、男性については全国と同様に「3月」が最も多い。女性については、全国は男性と同様に「3月」が最も多いが、本県では「4月」と「5月」が最も多い。

特に男性は「1月」「3月」の50歳代、「7月」の40歳代、「12月」の50歳代に、また女性は「2月」の50歳代、「3月」の40歳代、「6月」の20歳代、「7月」「8月」の30歳代に増加がみられる。

図3-5

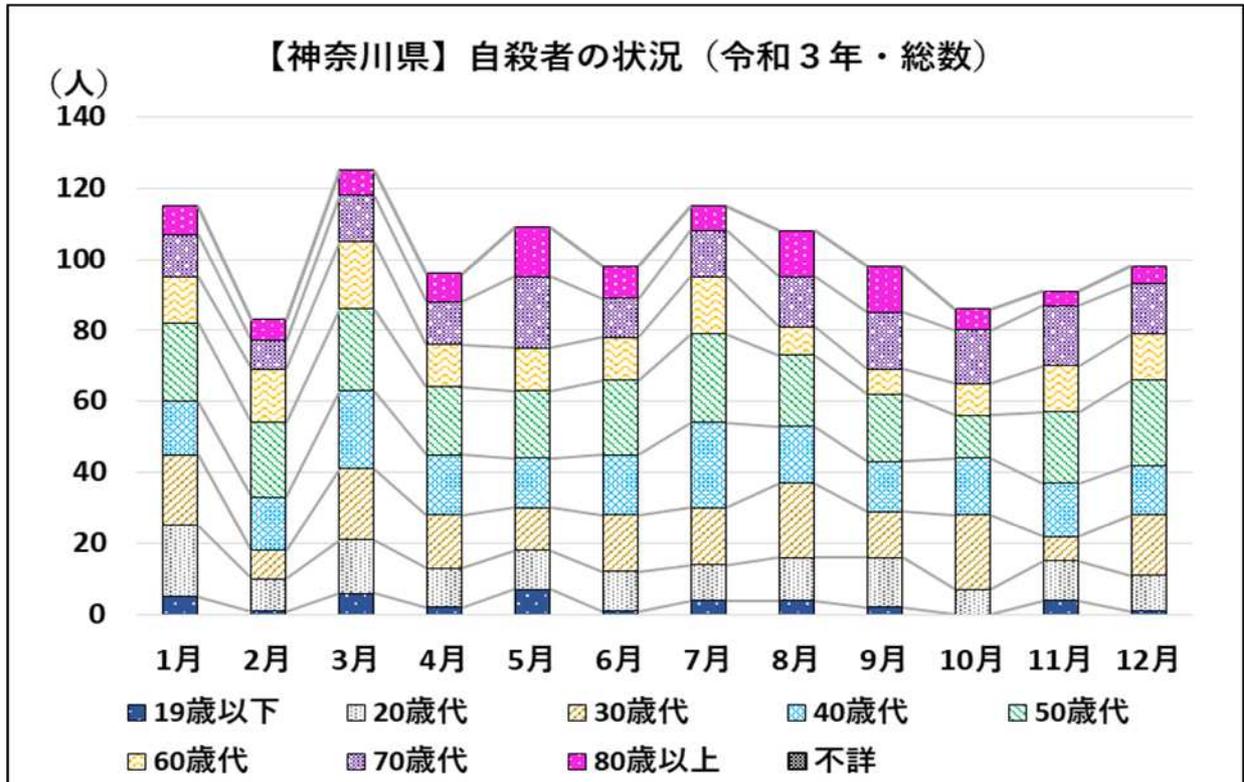


図3-6

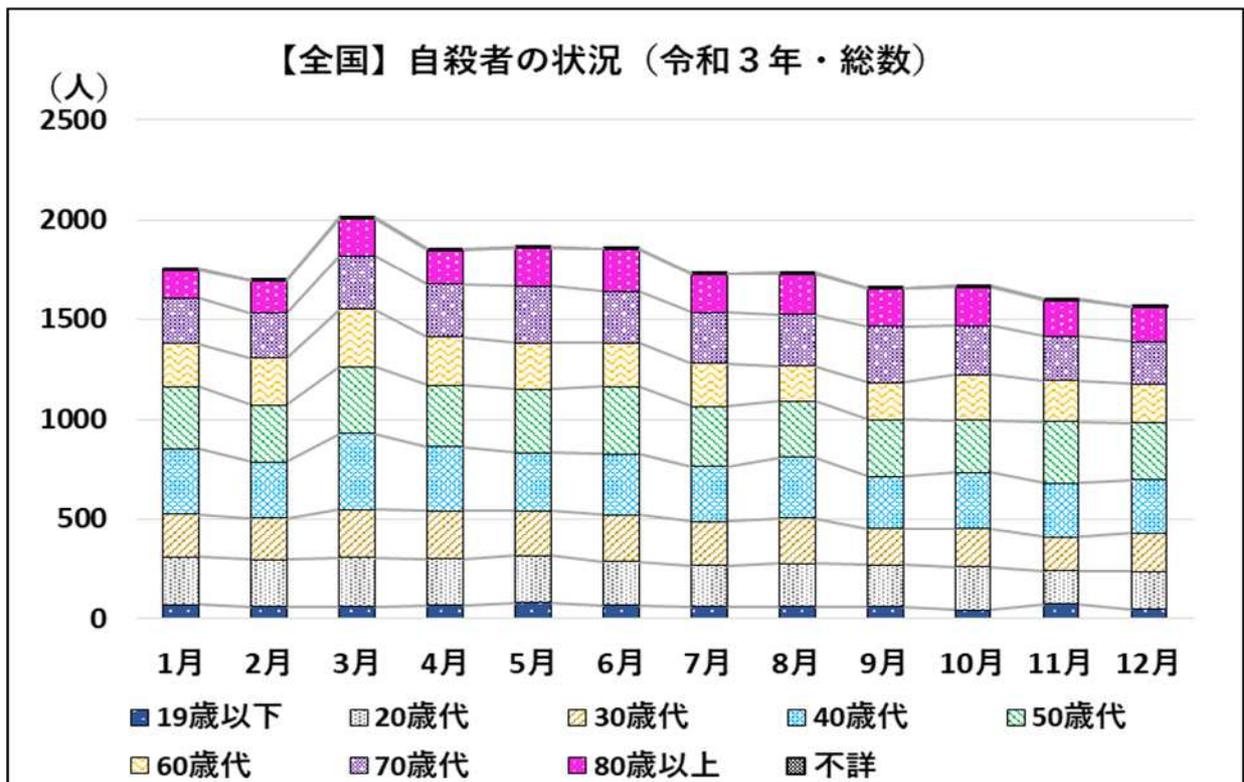


図3-7

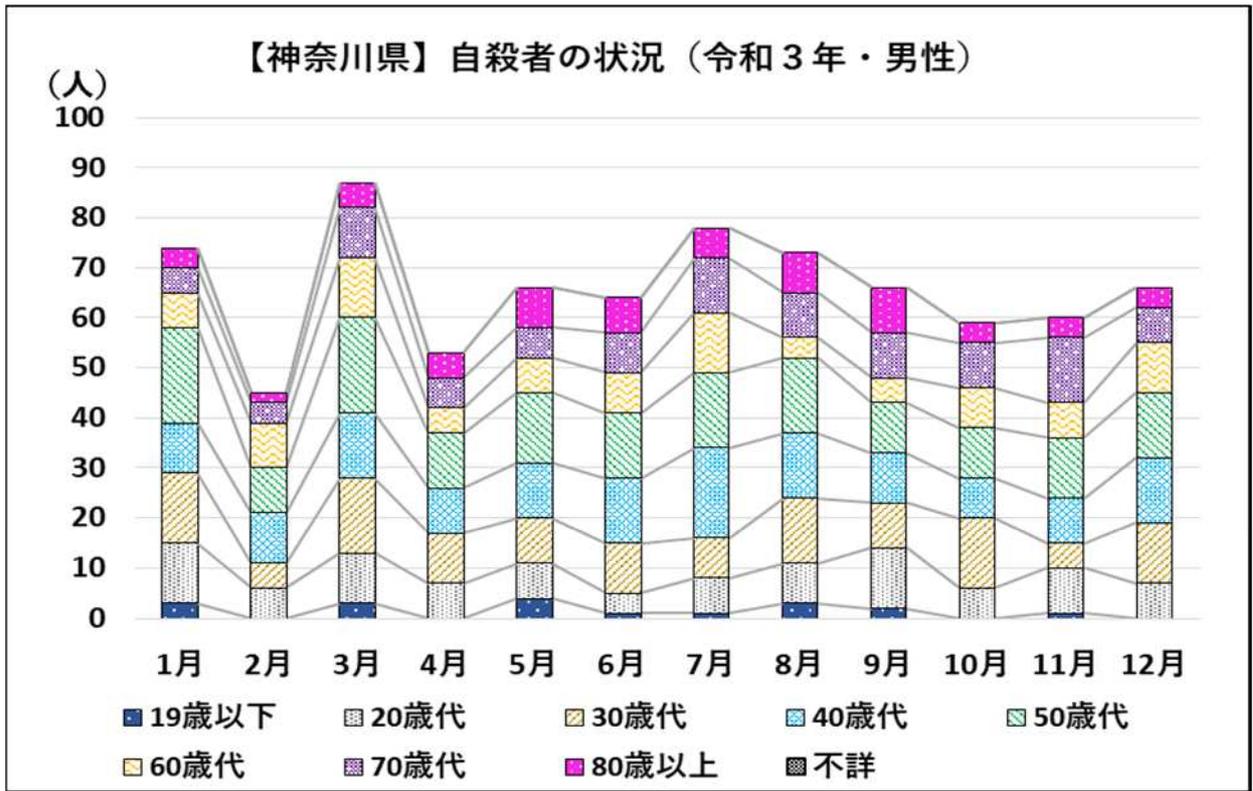


図3-8

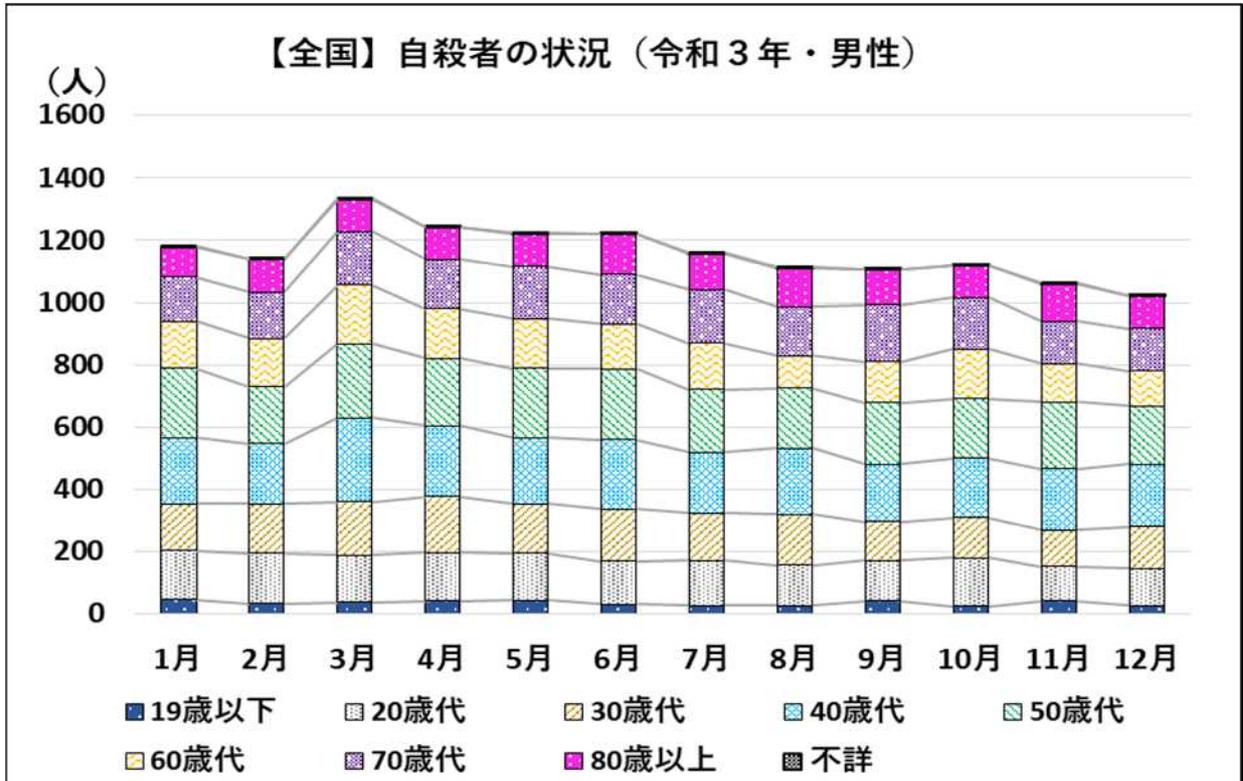


図3-9

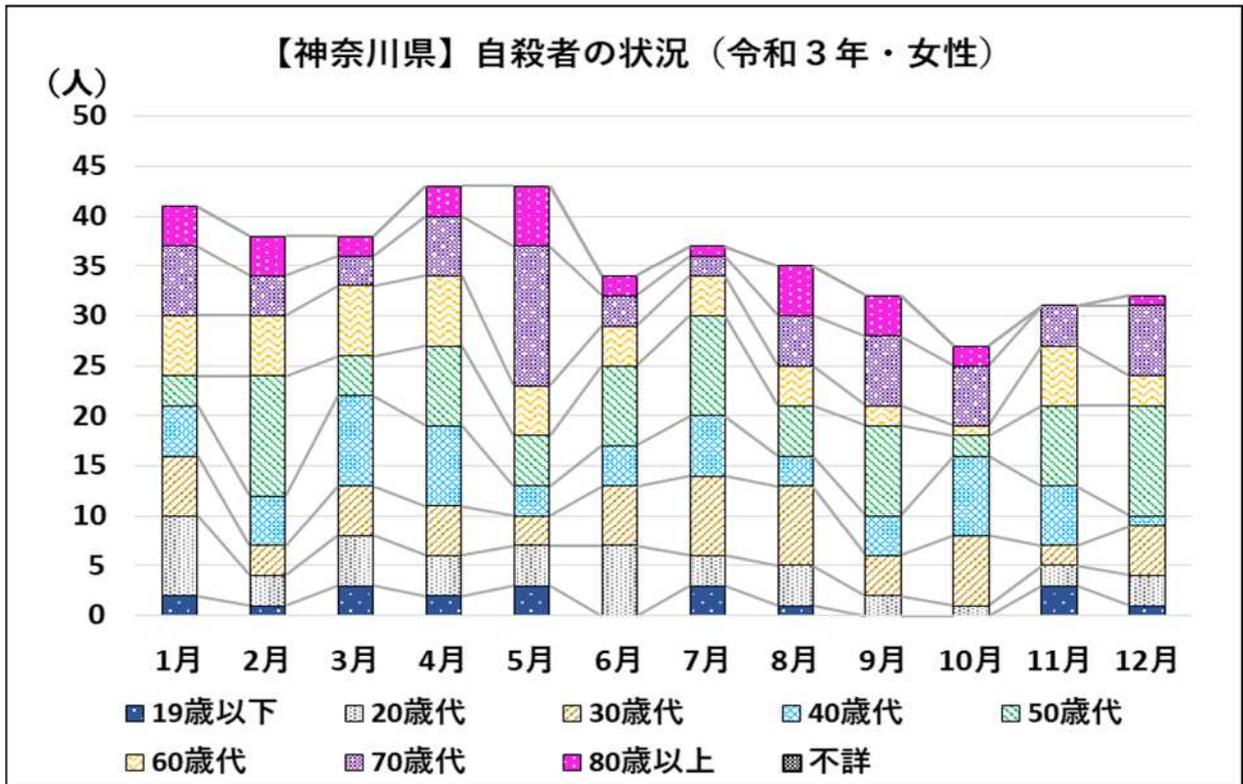
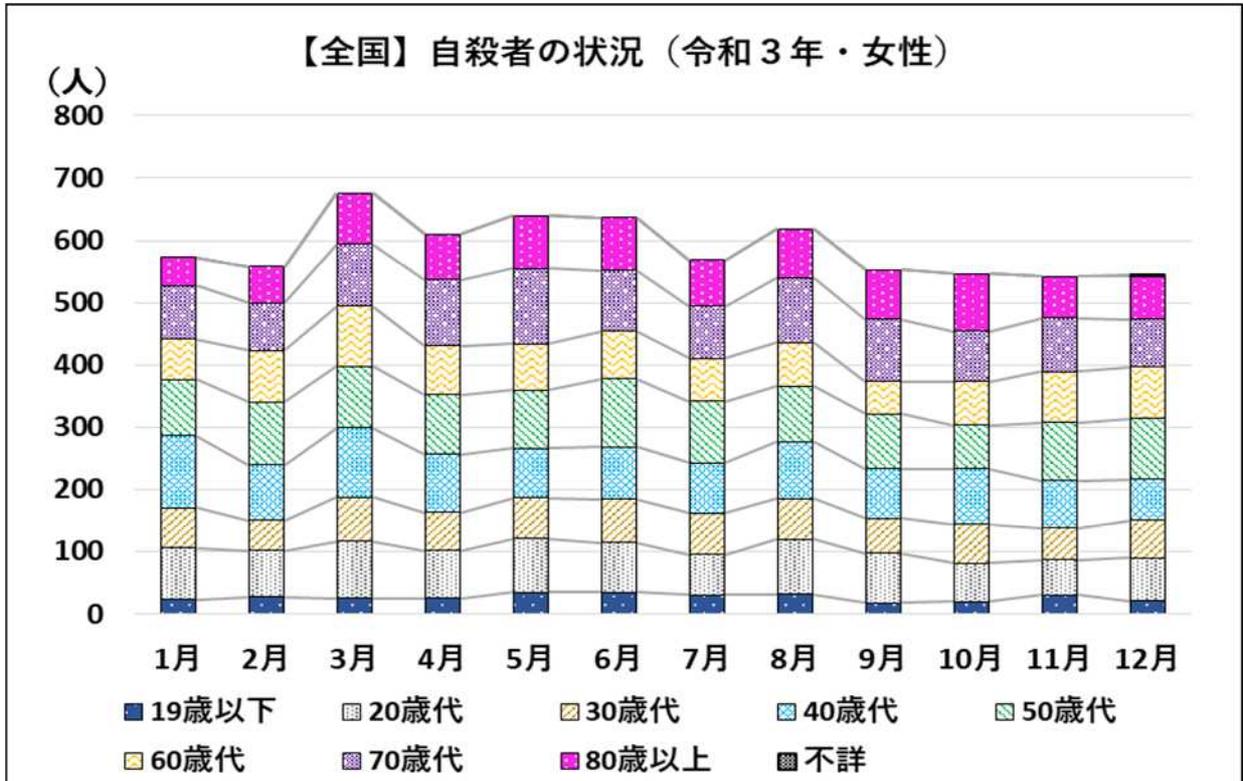


図3-10

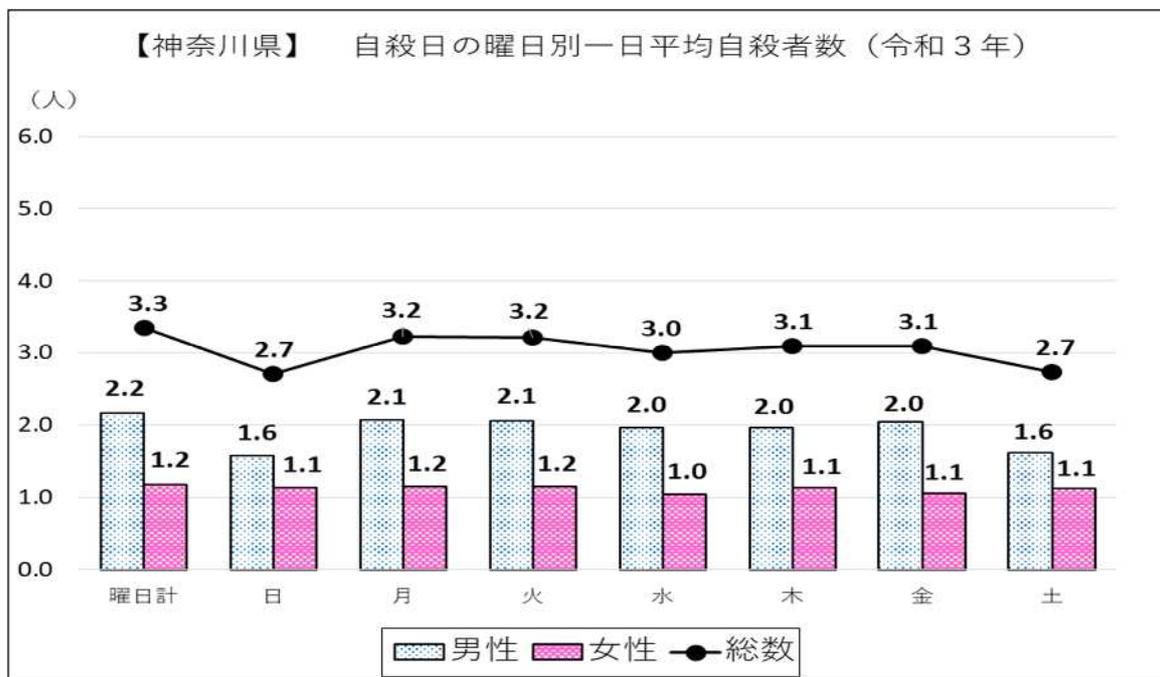


### (3) 曜日別の状況

曜日別の一日平均自殺者数の状況を見ると、本県では男女ともに「月曜日」「火曜日」が最も多く、全国でも男女とも「月曜日」が多くなっている。

また、最も少ない曜日は、本県では男性が「土曜日」「日曜日」、女性が「水曜日」であるのに対し、全国では男女ともに「土曜日」となっている。

図3-11

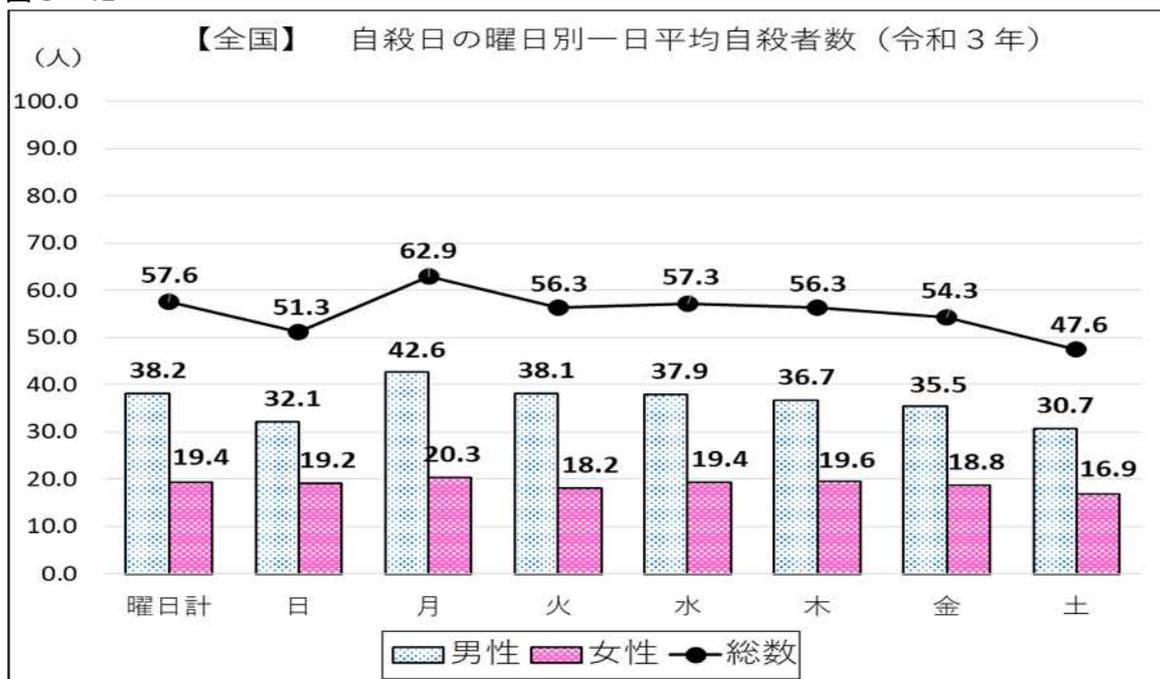


※ 「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。

※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

※ 「曜日計」には曜日不詳を含む。

図3-12



※ 「曜日別」については、比較する全国データが「自殺日」に基づいて集計しているため、神奈川県についても「発見日」ではなく、「自殺日」に基づいて集計した。

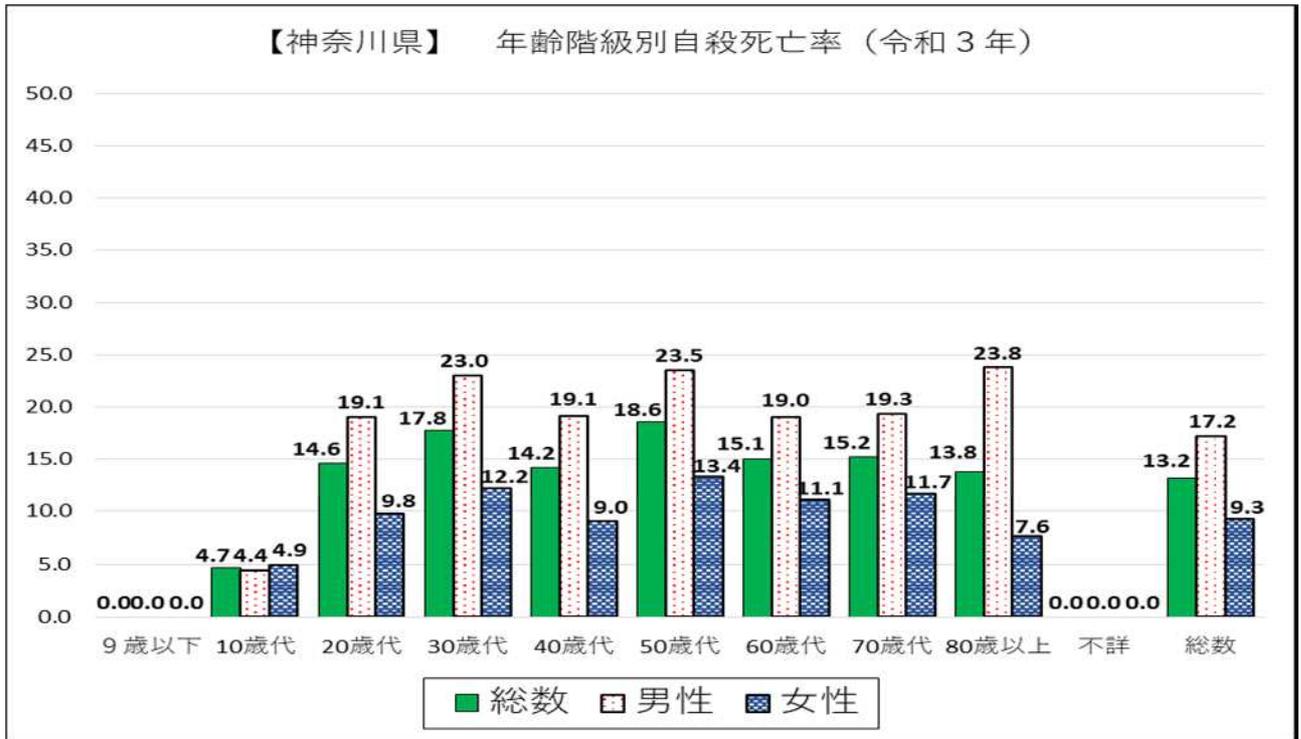
※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

※ 「曜日計」には曜日不詳を含む。

#### (4) 年齢階級別自殺死亡率の状況

本県の令和3年における年齢階級別の自殺死亡率を見ると、男性は「80歳代」が最も多く、次いで「50歳以上」、「30歳代」の順となっており、女性は「50歳代」、「30歳代」、「70歳代」の順となっている。

図3-13



※ 自殺死亡率は、人口10万人当たりの自殺者数を表す（自殺者数÷人口×100,000人）。

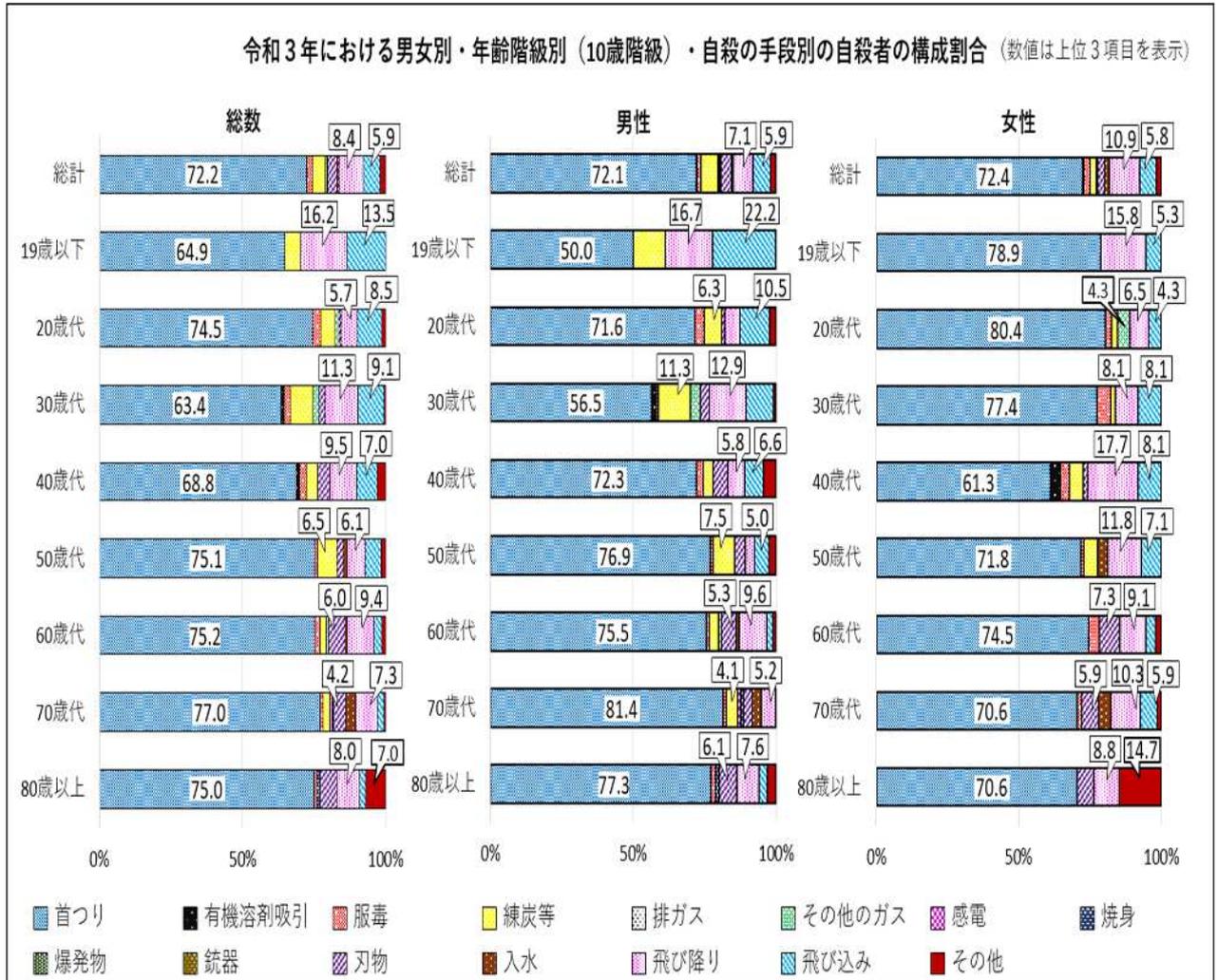
※ 各年齢階級別の人口は、神奈川県年齢別人口統計調査（該当年1月1日現在）に基づく。

### (5) 男女別・年齢階級別・自殺の手段別の状況

本県の令和3年における男女別・年齢階級別・自殺の手段別の構成割合をみると、男女ともすべての年齢階級において「首つり」が最も多く、次いで「飛び降り」「飛び込み」の順となっている。

年齢階級別に見ると、「19歳以下」の男性では、「飛び降り」「飛び込み」及び「練炭等」の割合が他の年代と比較して多く、「40歳代」の女性は「飛び降り」及び「飛び込み」の割合が多くなっている。

図3-14



## (6) 男女別・年齢階級別・自殺の場所別の状況

本県の令和3年における男女別・年齢階級別・自殺の場所別の構成割合をみると、男女ともすべての年齢階級において「自宅」が最も多い。男性では、「自宅」に次いで「高層ビル」、「公園」の順となっており、女性では、「自宅」に次いで「高層ビル」、「鉄道線路」の順となっている。

年齢階級別に見ると、19歳以下の男性は「鉄道線路」の割合が他の年齢階級と比べて高くなっている。また、19歳以下の女性は「高層ビル」の割合が2番目に高いほか、「病院」、「鉄道線路」、「公園」が同率で3番目に高い割合である。

図3-15



### (7) 職業別・年齢階級別の状況

本県の職業別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」が最も多く、次いで「被雇用者・勤め人」、「自営業・家族従業者」、「学生・生徒等」の順となっている。また、「無職者」の内訳を見ると、「その他の無職者」が最も多く、次いで「年金・雇用保険等生活者」、「主婦」、「失業者」の順となっている。

さらに、職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」では「70歳代」が、「被雇用者・勤め人」では「50歳代」が、「学生・生徒等」では「19歳以下」が、「自営業・家族従業者」では「50歳代」が最も多くなっている。「無職者」の内訳については、「その他の無職者」では「50歳代」が、「年金・雇用保険等生活者」では「70歳代」が、「主婦」では「40歳代」が最も多い。「失業者」では「40歳代」、「50歳代」が多くなっている。

なお、男女別の職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、男性では「70歳代の無職者」が最も多く、次いで「50歳代の被雇用者・勤め人」、「40歳代の被雇用者・勤め人」となっており、女性では「70歳代の無職者」が最も多く、次いで「50歳代の無職者」、「60歳代の無職者」の順となっている。また、女性の「被雇用者・勤め人」では、「30歳代」が最も多くなっている。

表3-1

【神奈川県】年齢階級別、職業別自殺者数(令和3年)

職業別		年齢階級別									合計
		～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	不詳	
合計	計	37	141	186	199	245	149	165	100	0	1,222
	男	18	95	124	137	160	94	97	66	0	791
	女	19	46	62	62	85	55	68	34	0	431
自営業・ 家族従業者	計	0	1	6	9	19	7	11	3	0	56
	男	0	1	6	9	15	6	9	3	0	49
	女	0	0	0	0	4	1	2	0	0	7
被雇用者・ 勤め人	計	3	63	91	94	100	27	10	2	0	390
	男	2	40	59	74	77	24	8	2	0	286
	女	1	23	32	20	23	3	2	0	0	104
学生・生徒等	計	28	23	2	0	0	0	0	0	0	53
	男	11	16	1	0	0	0	0	0	0	28
	女	17	7	1	0	0	0	0	0	0	25
無職者	計	6	51	83	89	121	112	143	94	0	699
	男	5	35	54	49	63	62	79	60	0	407
	女	1	16	29	40	58	50	64	34	0	292
主婦	計	0	2	12	14	27	25	20	4	0	104
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	2	12	14	27	25	20	4	0	104
失業者	計	1	4	10	12	12	3		1	0	43
	男	1	3	9	10	9	3			0	35
	女	0	1	1	2	3	0	0	1	0	8
年金・雇用 保険 等生活者	計	0	2	3	6	7	37	78	65	0	198
	男	0	0	2	5	5	25	50	45	0	132
	女	0	2	1	1	2	12	28	20	0	66
その他	計	5	43	58	57	75	47	45	24	0	354
	男	4	32	43	34	49	34	29	15	0	240
	女	1	11	15	23	26	13	16	9	0	114
不詳	計	0	3	4	7	5	3	1	1	0	24
	男	0	3	4	5	5	2	1	1	0	21
	女	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3

※ 無職者のうち、「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「浮浪者」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

全国の職業別の自殺者数の状況を見ると、「無職者」が最も多く、次いで「被雇用者・勤め人」、「自営業・家族従業者」、「学生・生徒等」の順となり、「無職者」の内訳は、多い順から「年金・雇用保険等生活者」、「その他の無職者」、「主婦」、「失業者」となっている。

職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、「被雇用者・勤め人」において、全国では40歳代が最も多いのに対し、本県は50歳代が最も多くなっている。また、「無職者」内訳の「失業者」においては、全国では「50歳代」が最も多いのに対し、本県では「40歳代」も同様に多くなっている。

なお、全国の男女別の職業別、年齢階級別の自殺者数の状況を見ると、男性では「70歳代の無職者」が最も多く、次いで「40歳代の被雇用者・勤め人」、「80歳代の無職者」となっており、女性では「70歳代の無職者」、「80歳代の無職者」、「50歳代の無職者」の順となっている。

表3-2

【全国】年齢階級別、職業別自殺者数(令和3年)

職業別		年齢階級別									合計
		～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	不詳	
合計	計	750	2,611	2,554	3,575	3,618	2,637	3,009	2,214	39	21,007
	男	426	1,699	1,810	2,519	2,492	1,741	1,892	1,323	37	13,939
女	計	324	912	744	1,056	1,126	896	1,117	891	2	7,068
	男	0	36	124	262	260	229	172	52	0	1,135
自営業・ 家族従業者	計	0	40	144	284	301	263	203	63	0	1,298
	男	0	36	124	262	260	229	172	52	0	1,135
女	計	0	4	20	22	41	34	31	11	0	163
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
被雇用者・ 勤め人	計	82	1,312	1,328	1,700	1,469	583	187	31	0	6,692
	男	56	902	1,021	1,348	1,162	477	154	23	0	5,143
女	計	26	410	307	352	307	106	33	8	0	1,549
	男	589	427	14	1	0	0	0	0	0	1,031
学生・生徒等	計	589	427	14	1	0	0	0	0	0	1,031
	男	325	285	11	1	0	0	0	0	0	622
女	計	264	142	3	0	0	0	0	0	0	409
	男	79	798	1,012	1,516	1,768	1,752	2,599	2,114	1	11,639
無職者	計	79	798	1,012	1,516	1,768	1,752	2,599	2,114	1	11,639
	男	45	450	613	849	998	1,005	1,550	1,242	1	6,753
女	計	34	348	399	667	770	747	1,049	872	0	4,886
	男	1	29	106	236	322	242	166	34	0	1,136
主婦	計	1	29	106	236	322	242	166	34	0	1,136
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	計	1	29	106	236	322	242	166	34	0	1,136
	男	2	84	124	161	205	48	10	2	0	636
失業者	計	2	84	124	161	205	48	10	2	0	636
	男	2	59	106	139	182	44	8	1	0	541
女	計	0	25	18	22	23	4	2	1	0	95
	男	0	62	99	168	222	783	1,945	1,722	0	5,001
年金・雇用 保険 等生活者	計	0	62	99	168	222	783	1,945	1,722	0	5,001
	男	0	25	54	92	145	484	1,213	1,030	0	3,043
女	計	0	37	45	76	77	299	732	692	0	1,958
	男	76	623	683	951	1,019	679	478	356	1	4,866
その他	計	76	623	683	951	1,019	679	478	356	1	4,866
	男	43	366	453	618	671	477	329	211	1	3,169
女	計	33	257	230	333	348	202	149	145	0	1,697
	男	0	34	56	74	80	39	20	6	38	347
不詳	計	0	34	56	74	80	39	20	6	38	347
	男	0	26	41	59	72	30	16	6	36	286
女	計	0	8	15	15	8	9	4	0	2	61
	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 無職者のうち、「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「浮浪者」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

(8) 年齢階級別、原因・動機別の状況

原因・動機別の自殺者数の状況を見ると、「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」、「経済・生活問題」、「勤務問題」、「その他」、「男女問題」、「学校問題」の順となっている。

「健康問題」では男女ともに「70歳代」が最も多く、「家庭問題」では男性は「50歳代」、女性は「40歳代」が最も多くなっている。また、「経済・生活問題」では男性は「40歳代」、「60歳代」、女性は「50歳代」が最も多くなっており、「勤務問題」では男性は「40歳代」、女性は「30歳代」が最も多くなっている。このほか、「男女問題」では男性は「20歳代」、女性は「20歳代」、「50歳代」が最も多く、「学校問題」では男性は「19歳以下」、「20歳代」、女性は「19歳以下」が最も多くなっている。

表 3-3

【神奈川県】年齢階級別、原因・動機別自殺者数(令和3年)

年齢階級別 原因・動機別		～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80歳	不詳	合計
		19歳	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	79歳	～		
合計	計	32	125	157	167	214	115	137	67	0	1,014
	男	14	88	101	107	130	76	75	39	0	630
	女	18	37	56	60	84	39	62	28	0	384
家庭問題	計	7	20	24	32	38	22	20	11	0	174
	男	4	13	14	18	17	18	14	7	0	105
	女	3	7	10	14	21	4	6	4	0	69
健康問題	計	6	38	57	62	84	58	92	46	0	443
	男	2	24	29	34	43	29	44	27	0	232
	女	4	14	28	28	41	29	48	19	0	211
経済・生活問題	計	0	13	24	28	48	17	13	2	0	145
	男	0	10	23	18	41	16	12	1	0	121
	女	0	3	1	10	7	1	1	1	0	24
勤務問題	計	0	19	22	30	22	6	2	0	0	101
	男	0	15	13	27	17	5	2	0	0	79
	女	0	4	9	3	5	1	0	0	0	22
男女問題	計	2	15	13	2	10	0	0	0	0	42
	男	2	11	10	1	6	0	0	0	0	30
	女	0	4	3	1	4	0	0	0	0	12
学校問題	計	11	5	2	0	0	0	0	0	0	18
	男	5	5	1	0	0	0	0	0	0	11
	女	6	0	1	0	0	0	0	0	0	7
その他	計	6	15	15	13	12	12	10	8	0	91
	男	1	10	11	9	6	8	3	4	0	52
	女	5	5	4	4	6	4	7	4	0	39

全国の状況としては、多い順から「健康問題」、「経済・生活問題」、「家庭問題」、「勤務問題」、「その他」、「男女問題」、「学校問題」となっている。神奈川県と異なり、2番目に多いのが「経済・生活問題」、3番目が「家庭問題」となっている。

表3-4

【全国】年齢階級別、原因・動機別自殺者数(令和3年)

原因・動機別		年齢階級別									合計
		～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	不詳	
合計	計	671	2,577	2,620	3,721	3,785	2,578	2,850	2,036	2	20,840
	男	382	1,625	1,790	2,611	2,524	1,665	1,730	1,161	2	13,490
	女	289	952	830	1,110	1,261	913	1,120	875	0	7,350
家庭問題	計	118	257	415	613	626	332	471	368	0	3,200
	男	69	137	245	391	348	187	268	198	0	1,843
	女	49	120	170	222	278	145	203	170	0	1,357
健康問題	計	199	842	908	1,520	1,655	1,450	1,889	1,396	1	9,860
	男	86	400	491	873	936	807	1,085	806	1	5,485
	女	113	442	417	647	719	643	804	590	0	4,375
経済・生活問題	計	11	413	515	751	832	518	261	74	1	3,376
	男	9	355	459	663	717	458	213	47	1	2,922
	女	2	58	56	88	115	60	48	27	0	454
勤務問題	計	30	402	401	502	419	136	39	6	0	1,935
	男	25	319	337	440	352	114	35	6	0	1,628
	女	5	83	64	62	67	22	4	0	0	307
男女問題	計	59	300	212	131	67	16	9	3	0	797
	男	34	150	125	74	44	13	8	3	0	451
	女	25	150	87	57	23	3	1	0	0	346
学校問題	計	197	166	7	0	0	0	0	0	0	370
	男	124	117	5	0	0	0	0	0	0	246
	女	73	49	2	0	0	0	0	0	0	124
その他	計	57	197	162	204	186	126	181	189	0	1,302
	男	35	147	128	170	127	86	121	101	0	915
	女	22	50	34	34	59	40	60	88	0	387

(9) 職業別、原因・動機別の状況

職業別に最も多い原因・動機別の状況を見ると、「自営業・家族従業者」は「経済・生活問題」、「被雇用者・勤め人」は「健康問題」、「学生・生徒等」は「学校問題」、「無職者」は「健康問題」となっている。

さらに男女別で見ると、「自営業・家族従業者」では男性は「経済・生活問題」、女性は「健康問題」が最も多く、また、「被雇用者・勤め人」では男性は「勤務問題」、女性は「健康問題」が最も多くなっている。

加えて「学生・生徒等」では男女ともに「学校問題」が最も多くなっている。「無職者」では男女ともに「健康問題」が最も多くなっている。

表3-5

【神奈川県】 職業別、原因・動機別自殺者数(令和3年)

原因・動機別	職業別	自営業・ 家族従業者	被雇用者・ 勤め人	無職						不詳	合計
				学生・ 生徒等	無職者						
						主婦	失業者	年金・雇 用保険等 生活者	その他		
合計	計	38	347	47	568	90	45	143	290	14	1,014
	男	33	242	27	314	0	33	89	192	14	630
	女	5	105	20	254	90	12	54	98	0	384
家庭問題	計	4	65	6	96	17	8	25	46	3	174
	男	4	39	3	56	0	5	17	34	3	105
	女	0	26	3	40	17	3	8	12	0	69
健康問題	計	9	92	10	330	62	11	102	155	2	443
	男	6	57	5	162	0	8	63	91	2	232
	女	3	35	5	168	62	3	39	64	0	211
経済・生活問題	計	18	46	1	77	1	21	5	50	3	145
	男	18	39	1	60	0	16	4	40	3	121
	女	0	7	0	17	1	5	1	10	0	24
勤務問題	計	4	86	0	11	2	2	1	6	0	101
	男	4	67	0	8	0	2	1	5	0	79
	女	0	19	0	3	2	0	0	1	0	22
男女問題	計	1	27	3	9	1	0	0	8	2	42
	男	0	20	3	5	0	0	0	5	2	30
	女	1	7	0	4	1	0	0	3	0	12
学校問題	計	0	0	18	0	0	0	0	0	0	18
	男	0	0	11	0	0	0	0	0	0	11
	女	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7
その他	計	2	31	9	45	7	3	10	25	4	91
	男	1	20	4	23	0	2	4	17	4	52
	女	1	11	5	22	7	1	6	8	0	39

※ 遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

※ 無職者のうち、「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「浮浪者」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

全国の状況は本県とほぼ同様であるが、「被雇用者・勤め人」の男性では、本県は「勤務問題」が最も多いのに対し、全国は「健康問題」が最も多くなっている。

表3-6

【全国】職業別、原因・動機別自殺者数(令和3年)

原因・動機別	職業別	自営業・ 家族従業者	被雇用者・ 勤め人	学生・ 生徒等	無職					不詳	合計
					無職者	主婦	失業者	年金・雇 用保険等 生活者	その他		
合計	計	1,393	6,912	923	11,447	1,211	708	4,893	4,635	165	20,840
	男	1,222	5,217	548	6,376	0	584	2,863	2,929	127	13,490
	女	171	1,695	375	5,071	1,211	124	2,030	1,706	38	7,350
家庭問題	計	211	1,067	108	1,797	290	87	736	684	17	3,200
	男	176	730	60	867	0	65	413	389	10	1,843
	女	35	337	48	930	290	22	323	295	7	1,357
健康問題	計	412	2,183	268	6,956	831	198	3,435	2,492	41	9,860
	男	339	1,451	126	3,541	0	154	1,979	1,408	28	5,485
	女	73	732	142	3,415	831	44	1,456	1,084	13	4,375
経済・生活問題	計	542	1,150	44	1,566	32	329	316	889	74	3,376
	男	511	1,028	36	1,282	0	291	231	760	65	2,922
	女	31	122	8	284	32	38	85	129	9	454
勤務問題	計	122	1,616	8	184	11	46	22	105	5	1,935
	男	115	1,371	3	135	0	38	17	80	4	1,628
	女	7	245	5	49	11	8	5	25	1	307
男女問題	計	47	482	72	188	7	16	35	130	8	797
	男	34	287	42	84	0	8	19	57	4	451
	女	13	195	30	104	7	8	16	73	4	346
学校問題	計	0	3	344	23	0	0	0	23	0	370
	男	0	2	230	14	0	0	0	14	0	246
	女	0	1	114	9	0	0	0	9	0	124
その他	計	59	411	79	733	40	32	349	312	20	1,302
	男	47	348	51	453	0	28	204	221	16	915
	女	12	63	28	280	40	4	145	91	4	387

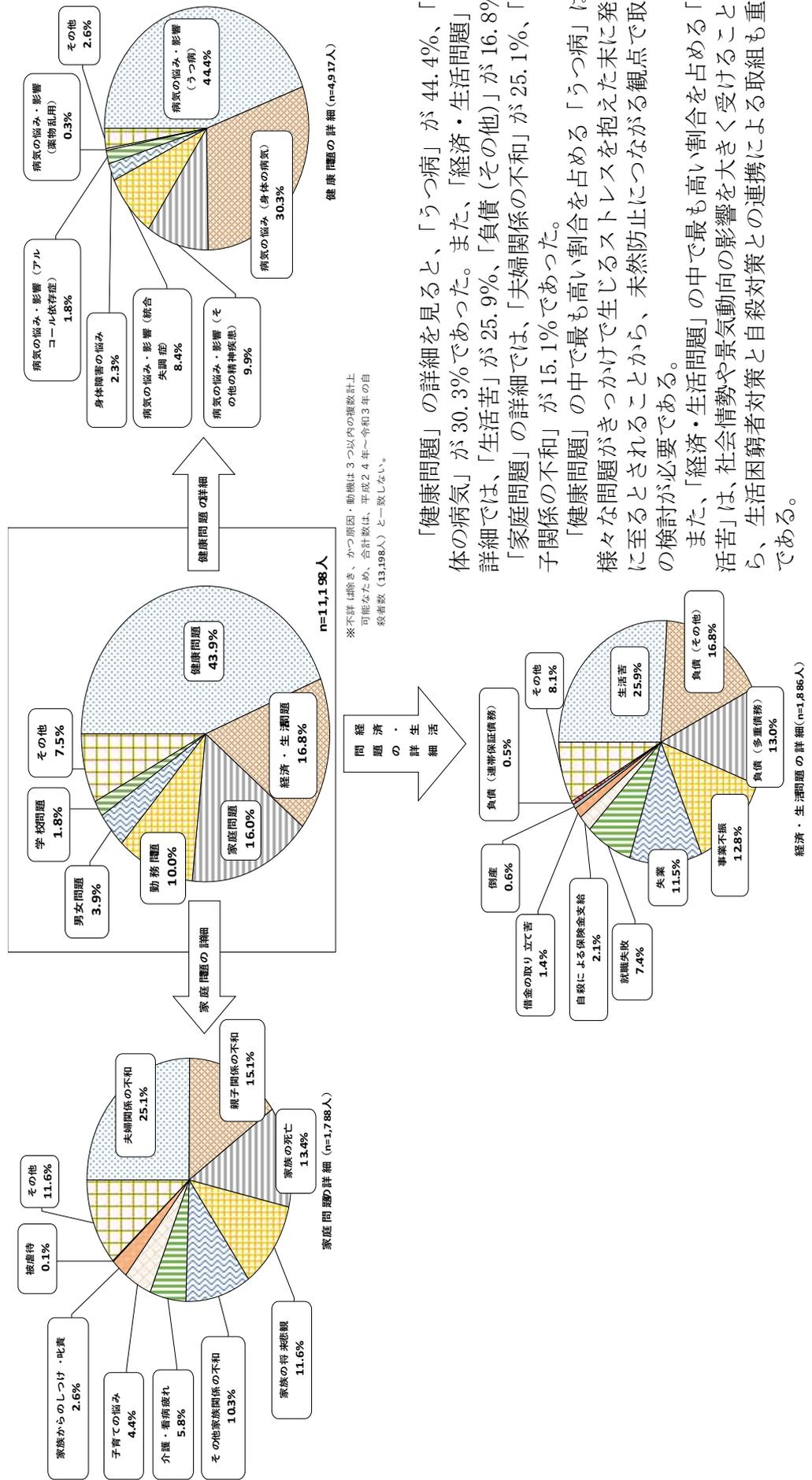
※ 遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかに推定できる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と自殺者実数とは一致しない。

※ 無職者のうち、「その他」は、「利子・配当・家賃等生活者」、「浮浪者」及び「その他の無職者」を足し合わせたもの。

### (10) 原因・動機別内訳

自殺の多くは多様かつ複合的な原因や背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きています。原因・動機別の自殺者の状況については、最大3つまで計上されたものが公表されているが、過去10年間（平成24年～令和3年）に神奈川県内で発見された自殺者13,198人のうち、原因・動機が特定できなかった延べ件数11,198件の内訳を分析したところ、「健康問題」が43.9%を占め、次いで「経済・生活問題」が16.8%、「家庭問題」が16.0%であった。

図3-16 【神奈川県】原因・動機別自殺者数（直近10カ年（平成24年～令和3年）集計）



「健康問題」の詳細を見ると、「うつ病」が44.4%、「身体的病気」が30.3%であった。また、「経済・生活問題」の詳細では、「生活苦」が25.9%、「負債（その他）」が16.8%、「家庭問題」の詳細では、「夫婦関係の不和」が25.1%、「親子関係の不和」が15.1%であった。

「健康問題」の中で最も高い割合を占める「うつ病」は、様々な問題がきっかけで生じるストレスを抱えた末に発症に至るとされることが多く、未然防止につながる観点で取組の検討が必要である。

また、「経済・生活問題」の中で最も高い割合を占める「生活苦」は、社会情勢や景気動向の影響を大きく受けることから、生活困窮者対策と自殺対策との連携による取組も重要である。

### (11) 年齢階級別、自殺未遂歴の状況

自殺未遂歴の年齢階級別の状況を見ると、男女別の割合では、すべての年齢階級で自殺未遂歴「あり」は女性が多くなっている。また、女性の中では「19歳以下」が最も多く63.2%と半数以上となっており、次いで「30歳代」、「20歳代」、「40歳代」の順で30%を超えている。

男性は「19歳以下」が最も多く27.8%となっており、次いで「80歳以上」、「20歳代」、「30歳代」となっている。

総数の状況を全国と比べてみると、本県は女性に自殺未遂歴「あり」の割合が多くなっている。

図3-17

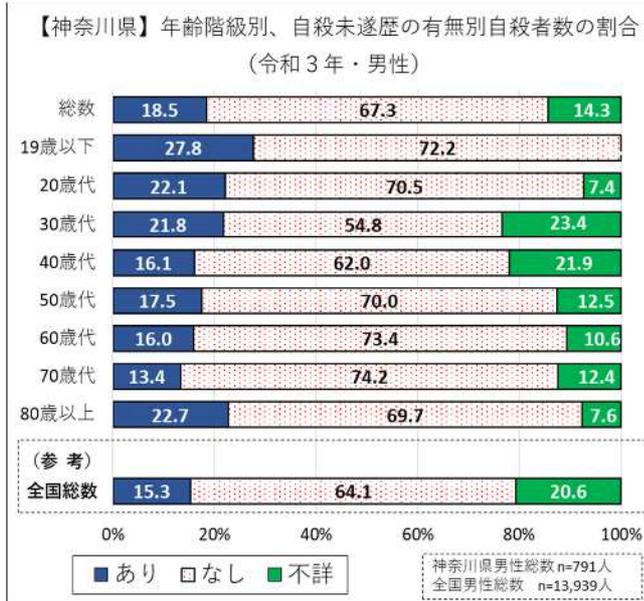
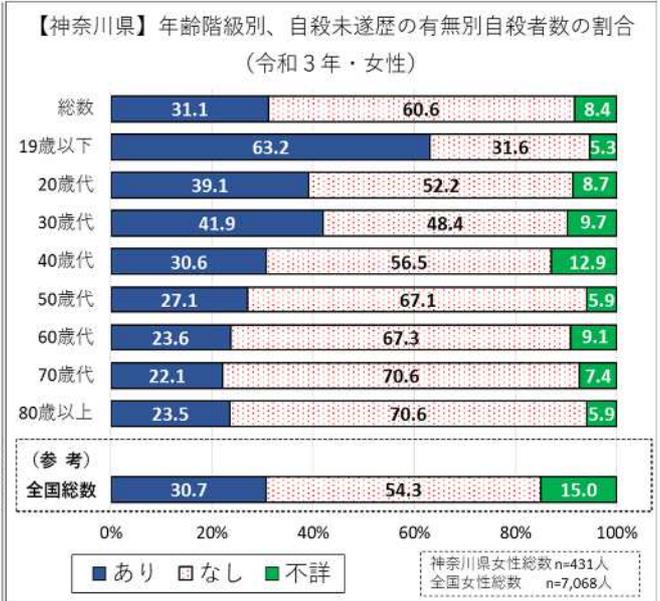


図3-18



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。

### (12) 同居人の状況

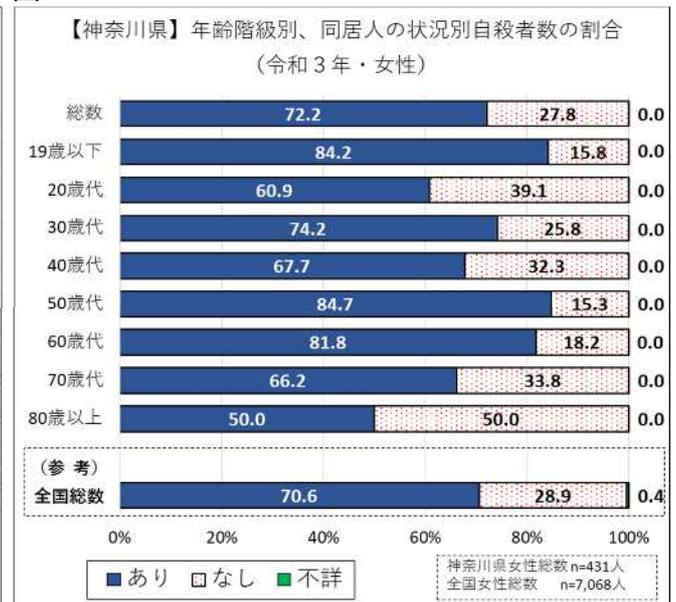
同居人の状況を年齢階級別で見ると、男女ともにほぼ全ての年齢階級において、同居人「あり」が多い。

総数の状況を全国と比べてみると、本県においては、男性は同居人「なし」が、女性は同居人「あり」の割合が若干多くなっている。

図3-19



図3-20



※ 各割合は小数点第二位を四捨五入しているため、総数と各割合の合計が一致しない場合がある。